

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
東京医科歯科大学

目 次

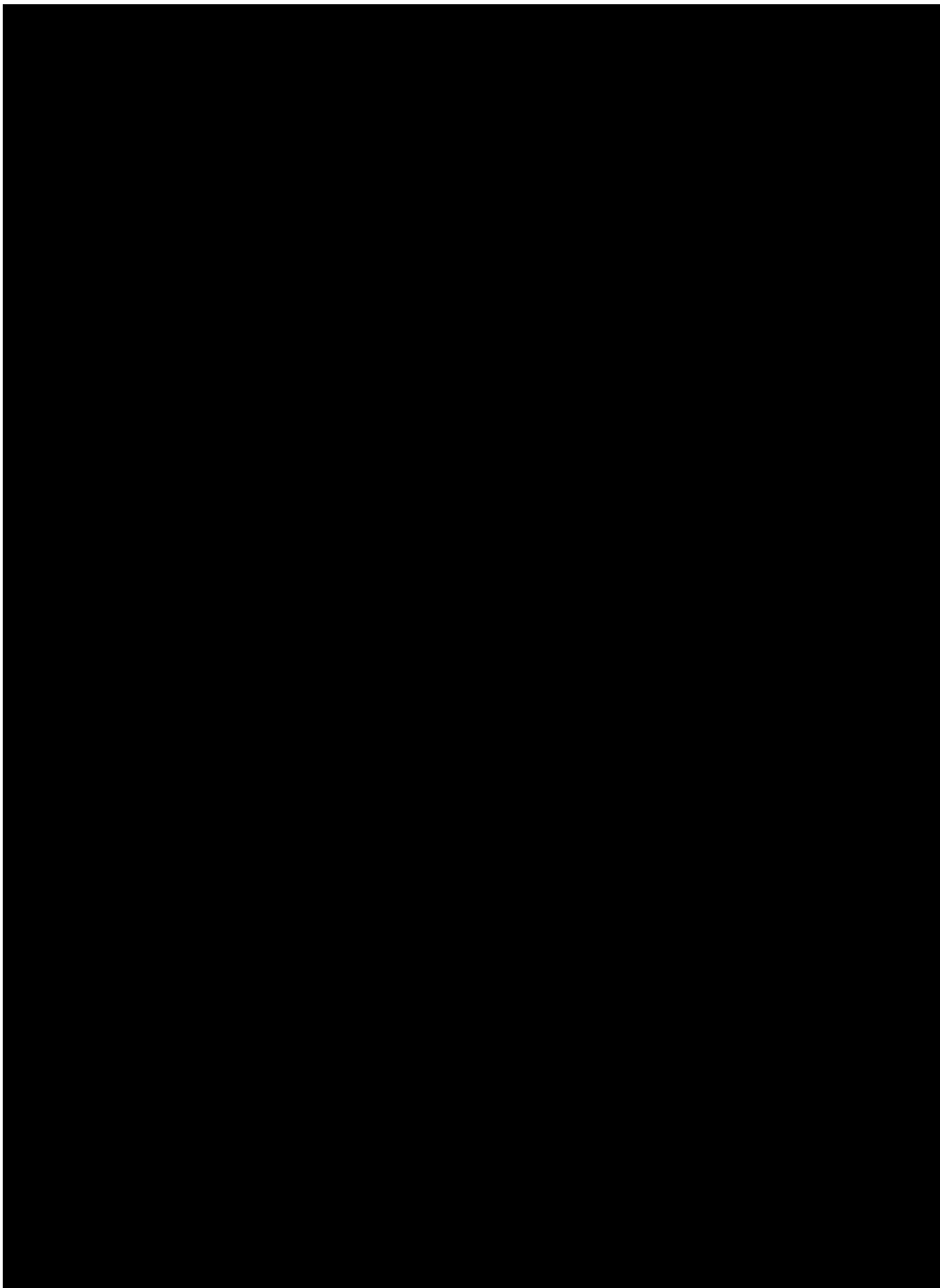
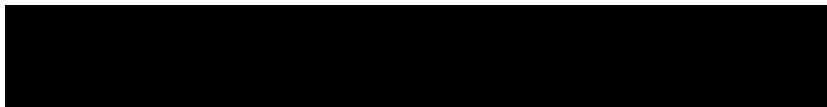
資料 1-1-1	各推進協議会・戦略会議 構成・審議事項・規則一覧・・・	1
資料 1-1-2	平成 21 年度医歯学融合教育新構想検討部会議事要旨抜粋・・・	2
資料 1-1-3	平成 20・21 年度実施教員 FD 一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	7
資料 1-1-4	平成 20・21 年度新規採択プロジェクト一覧・・・・・・・・	8
資料 1-1-5	平成 20・21 年度国内外提携大学等一覧・・・・・・・・	10
資料 1-1-6	平成 20・21 年度新規開設センター・・・・・・・・	11
資料 1-1-7	研究者早期育成奨学金規則・・・・・・・・	12
資料 1-1-8	平成 21 年度がん治療高度専門家養成プログラム 養成計画・カリキュラム・時間割・・・	16
資料 1-1-9	歯科医学における基礎・臨床ボードレス教育・ボードレス教育授業一覧・・	19
資料 1-1-10	病因・病態解析学シラバス・・・・・・・・	20
資料 1-1-11	平成 20・21 年度広報誌・ニュース・プレスリリース一覧・・・	21
資料 1-1-12	東京医科歯科大学オープンキャンパス・・・・・・・・	24
資料 1-3-1	教員個人評価規則・・・・・・・・	28
資料 1-3-2	国立大学法人東京医科歯科大学特別教授選考規則・・・・・・・・	32
資料 1-4-1	平成 20・21 年度就職支援イベント実施一覧・・・・・・・・	33
資料 1-4-2	学内保育施設説明会資料・・・・・・・・	34
資料 2-2-1	産学官連携活動に携わる職員等の利益相反マネジメント実施要領・・・	37
資料 2-2-2	改革推進状況参考資料（木村副学長推進協議会・戦略会議説明資料）・・・	40
資料 3-1-1	平成 20・21 年度連続公開講座一覧・・・・・・・・	43
資料 4-2-1	第 7、8 回駿河台シンポジウムプログラム・・・・・・・・	45

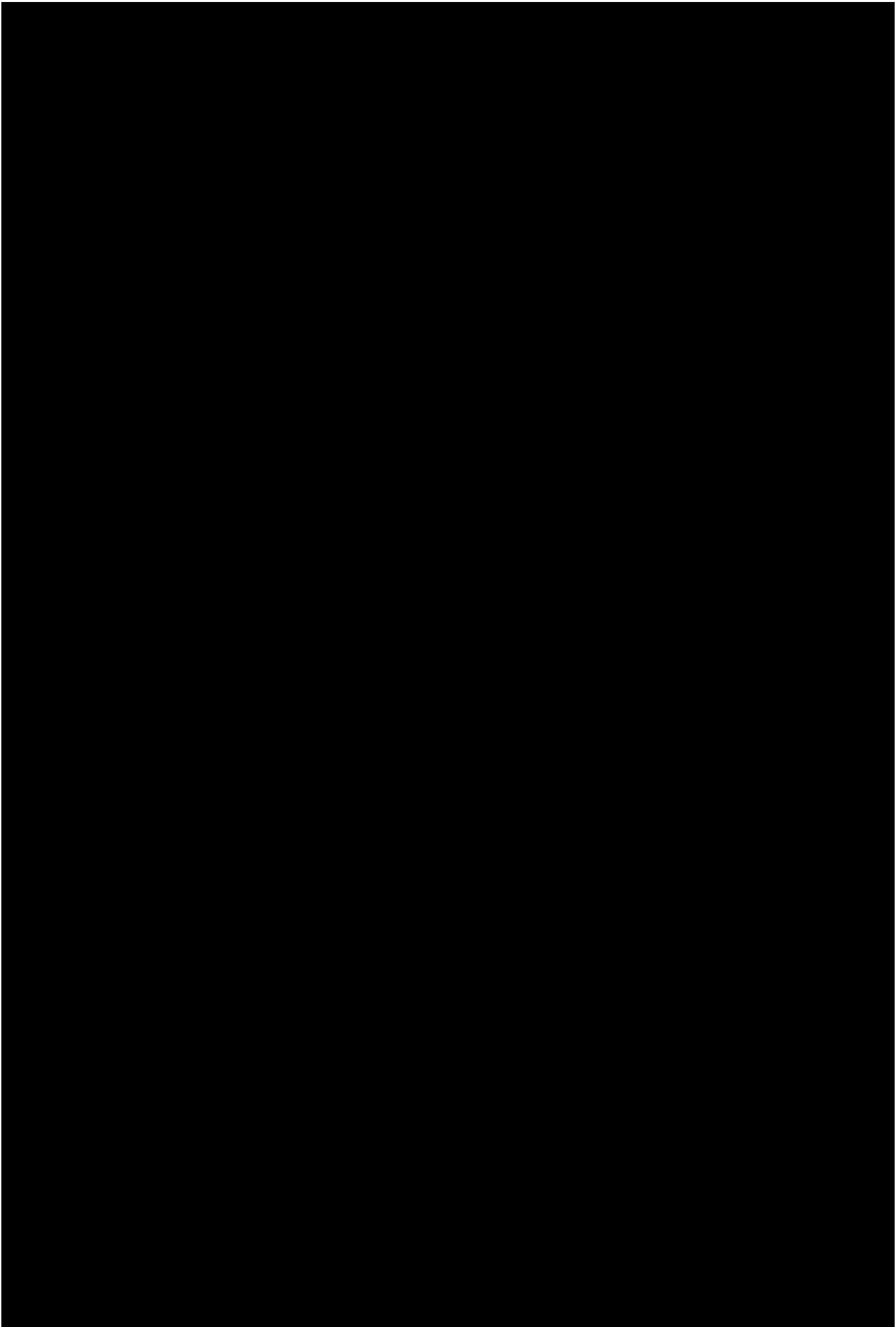
各推進協議会・戦略会議 構成・審議事項・規則一覧

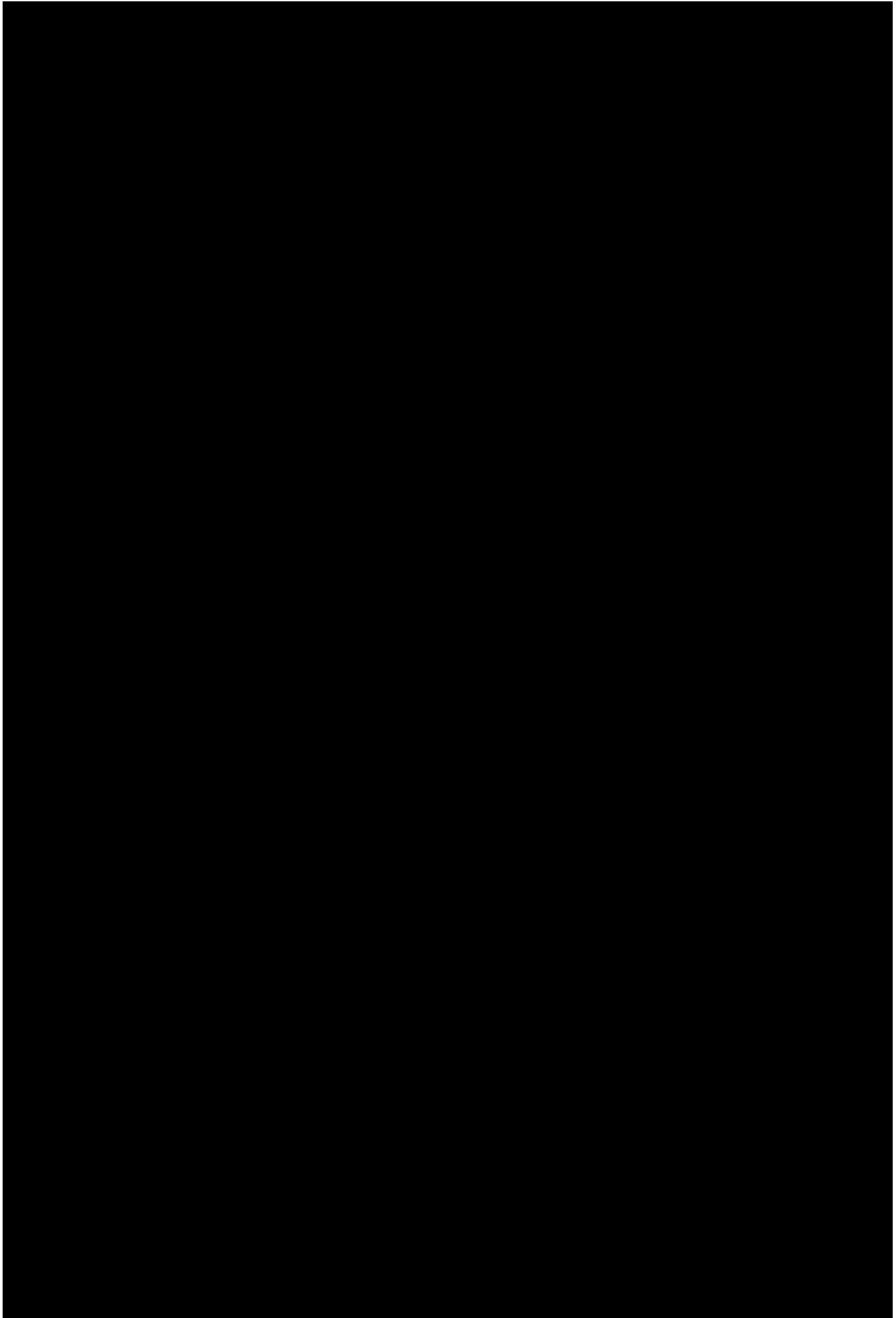
(出典：評価情報室作成)

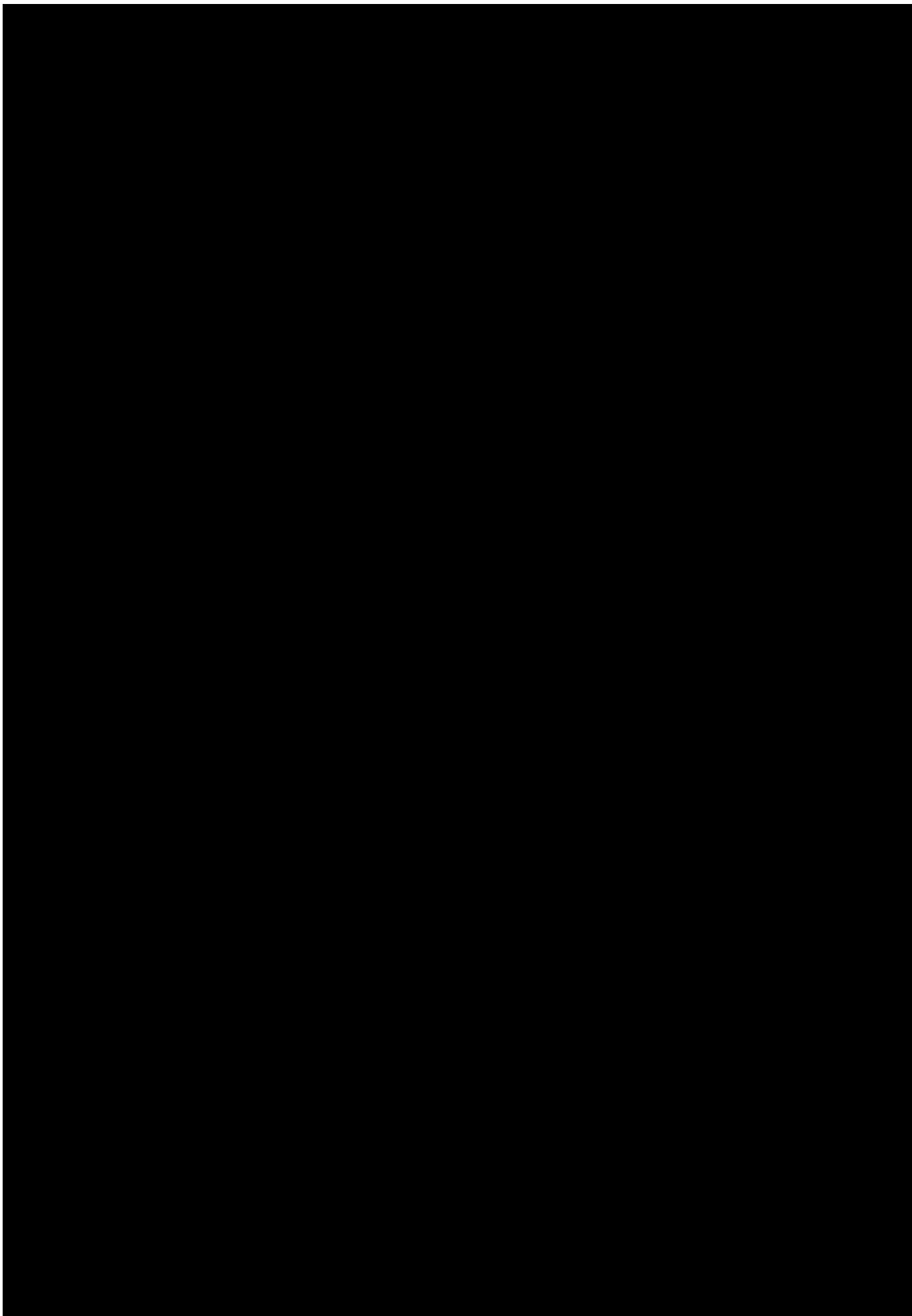
各協議会等名	構成・規則等	開催実績
教育推進協議会	1. 構成：教育担当理事、総務・財務・施設担当理事、教育担当副理事、教育担当学長特別補佐、学長が指名する部局から選出した者若干名、学長が指名する者 2. 審議事項：本学の教育に関する構想・戦略及び学長から指示のあった事項を審議する。 3. 規則：国立大学法人東京医科歯科大学教育推進協議会規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/2hen/2shou/2208kyouikuishin.pdf) ※ 平成21年度より医歯学融合教育新構想検討部会を設置し、医歯学融合教育構想や連携教育について検討を行っている。	H20：7回 H21：11回
研究推進協議会	1. 構成：研究担当理事、総務・財務・施設担当理事、研究担当副理事、研究担当学長特別補佐、学長が指名する部局から選出した者若干名、学長が指名する者 2. 審議事項：本学の研究に関する構想・戦略及び学長から指示のあった事項を審議する。 3. 規則：国立大学法人東京医科歯科大学研究推進協議会規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/2hen/2shou/2209kenkyuushin.pdf)	H20：6回 H21：13回
企画・国際交流戦略会議	1. 構成：企画・国際交流担当理事、総務・財務・施設担当理事、企画・国際交流担当副理事、企画・国際交流担当学長特別補佐、学長が指名する部局から選出した者若干名、学長が指名する者 2. 審議事項：本学の企画・国際交流戦略及び学長から指示のあった事項を審議する。 3. 規則：国立大学法人東京医科歯科大学企画・国際交流戦略会議規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/2hen/2shou/2207kikaku.pdf)	H20：9回 H21：11回
管理・運営推進協議会	1. 構成：総務・財務・施設担当理事、総務部長、財務部長、施設部長、学務部長、学術国際部長、医学部事務部長及び歯学部事務部長、総務部総務課長及び人事課長、財務課長、施設企画課長、学務企画課長、研究推進課長、医学部総務課長並びに歯学部総務課長、各事務長、その他総務・財務・施設担当理事が指名した者 2. 審議事項：本学の教育、研究、医療、地域・国際貢献活動等の向上を審議する諸会議と連携し、各活動等の支援に関わる本学の管理・運営を推進するため、以下の事項を審議する。 (1) 本学の管理・運営に関する戦略的施策の提案及びその推進に関する事項 (2) 本学の円滑な経営に資するような事務運営体制に関する事項 (3) 大学経営に係る情報の収集・分析等に関する事項 (4) 部局等間の連絡調整に関する事項 (5) その他必要な事項 3. 規則：国立大学法人東京医科歯科大学管理・運営推進協議会規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/2hen/2shou/2211kanri.pdf)	H21：9回
医療戦略会議	1. 構成：医療担当理事、総務・財務・施設担当理事、医療担当副理事、学長が指名する部局から選出した者若干名、学長が指名する者 2. 審議事項：本学の医療戦略及び学長から指示のあった事項を審議する。 3. 規則：国立大学法人東京医科歯科大学医療戦略会議規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/2hen/2shou/2210iryou.pdf)	H20：9回 H21：9回

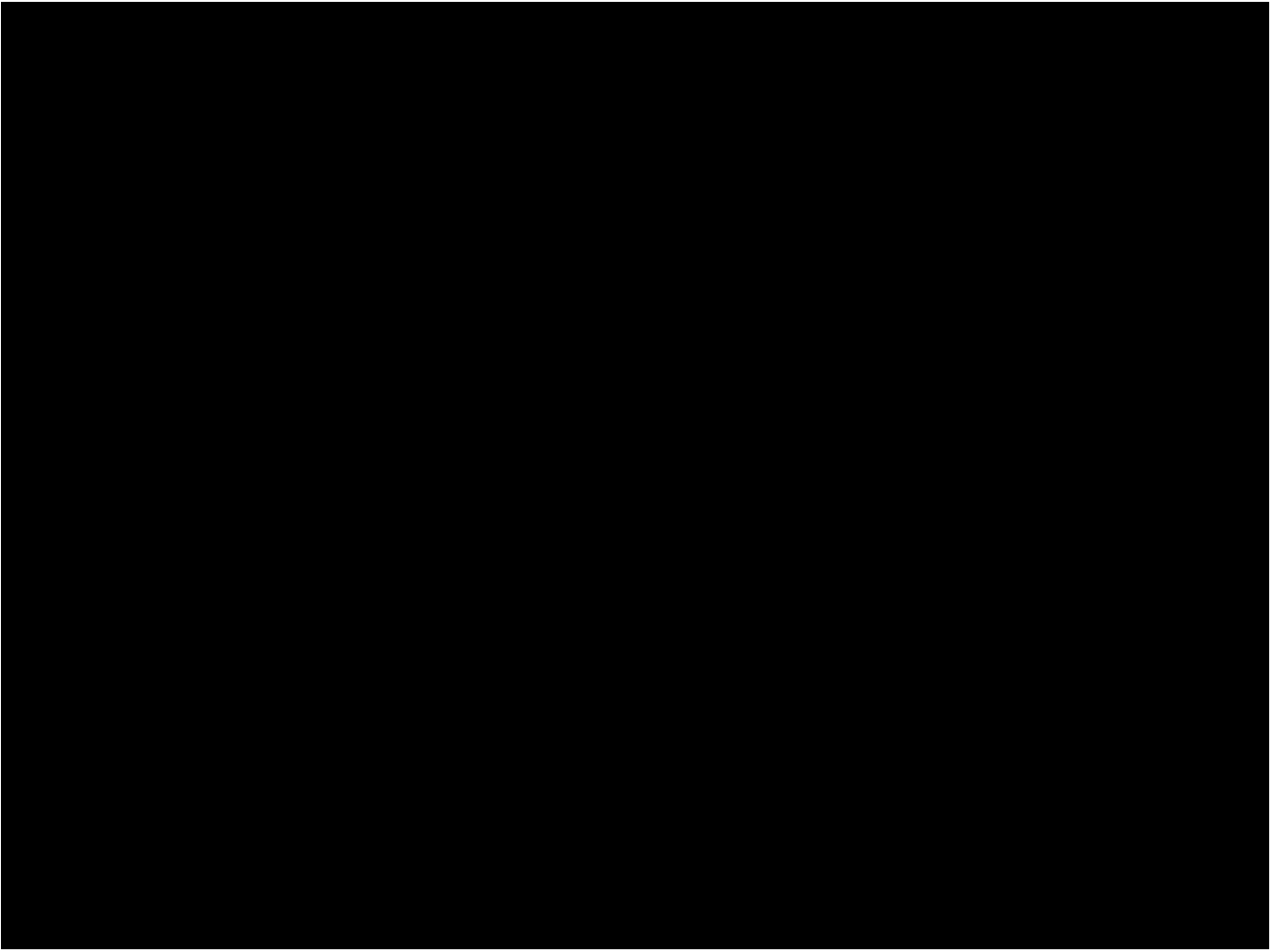
※開催実績欄は持ち回り開催を除いた平成20、21年度開催数を示す。











資料1-1-3

平成 20・21 年度実施教員 FD 一覧

(出典：評価情報室作成)

年度	実施主体	FD名	内容等	参加人数
H20	教養部	第1回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：教員からの問題提起「メール上での学生とのトラブル」	23名
		第2回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：講演（松田学教授）	24名
		第3回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：教員相互の授業参観	23名
		第4回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：合同セミナーの意見交換	20名
		第5回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：ティーチングポートフォリオについて	19名
		第6回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：学生参加の教育懇談会	18名
		第7回教養部教員FD	対象：教養部教員 内容：学部教員との合同研修会	39名
H20	医学部医学科	医学部医学科新規採用教員研修会	対象：医学部医学科新規採用教員 内容：全体研修、グループ演習（MICROTEACHING説明・演習）	34名
		医学部医学科及び大学院医歯学総合研究科合同教員研修会	対象：医学科教員、大学院医歯学総合研究科医系教員 内容：医学教育カリキュラムの評価と改善（基調講演、グループ討議等）	131名
H20	保健衛生学研究科（保健衛生学科）	保健衛生学研究科・保健衛生学科教員研修会	対象：保健衛生学研究科 教授・准教授・講師・助教等教員、教務補佐員 内容：基調講演「現代の若者気質」、学生メンタルサポートに関する講演、全体討論	45名
H20	歯学系大学院（歯学部歯学科）	歯学系大学院教員研修	対象：歯学系大学院各分野長 内容：新しい大学院プログラムについて、本学教員評価について、総合討論会、グループ討論、自由討論	30名
H20	生命情報科学教育部、疾患生命科学研究部、難治疾患研究所、生体材料工学研究所	研究部・教育部FD	対象：疾患生命科学研究部、生命情報科学教育部、難治疾患研究所、生体材料工学研究所等 内容：英語のプレゼンテーション力の向上 実施回数は、全20回（1回2時間）	
H21	全学（医学部・歯学部・教養部）	医学部医学科・歯学部歯学科合同教員研修会	対象：医学科・歯学科学生の教育に関わる本学教員（含む教養部） テーマ：医歯学融合教育について ゴール：医学科、歯学科の教育の相互理解を深め連携の在り方を議論する。 内容：各学科・教養部の教育目標・特色紹介、グループ討論	医系92名 歯系98名 教養16名 合計206名
H21	歯学部・教養部	歯学系教員 - 教養部教員研修	対象：歯学部・教養部の各カリキュラム担当教員 内容：歯学部・教養部の各カリキュラム説明、学力認定試験の内容の議論、学生アンケート結果報告、グループ討論、総合討論	歯系22名 教養17名 合計39名
H21	教養部	第1回教養部教員FD	対象：教養部教員、国際交流センター教員 内容：教員相互の授業参観	20名
		第2回教養部教員FD	対象：教養部教員、国際交流センター教員 内容：合同セミナーに関する意見交換会	20名
		第3回教養部教員FD	対象：教養部教員、国際交流センター教員 内容：講演会	25名
		第4回教養部教員FD	対象：教養部教員、国際交流センター教員 内容：学生との懇談会	20名
		第5回教養部教員FD	対象：教養部教員、国際交流センター教員、教養部職員 内容：概算予算成果報告会	20名
H21	医学部医学科	医学部医学科新規採用教員研修会	対象：医学部医学科新規採用教員 内容：全体研修、グループ演習（MICROTEACHING説明・演習）	30名
H21	保健衛生学研究科（保健衛生学科）	保健衛生学研究科・保健衛生学科教員研修会	対象：保健衛生学研究科 教授・准教授・講師・助教等教員、教務補佐員 内容：IPE（専門職連携教育）とPBL（問題に基づく学習）についての講演、全体討論	46名
H21	歯学系大学院（歯学部歯学科）	歯学系大学院教員研修	対象：歯学系大学院各分野長 内容：医歯学融合教育を導入する新カリキュラム作成における教員の共通理解と意見交換を行い、新しい歯学科カリキュラム作成の理解を深める	38名
H21	生命情報科学教育部、疾患生命科学研究部、難治疾患研究所、生体材料工学研究所	研究部・教育部FD	対象：疾患生命科学研究部、生命情報科学教育部、難治疾患研究所、生体材料工学研究所等 内容：英語のプレゼンテーション力の向上 実施回数は、全8回（1回2時間）	

資料1-1-4

平成20・21年度新規採択プロジェクト一覧

(出典：評価情報室作成)

番号	年度	公募プログラム名	採択学部等	採択プログラム名	内容・URL
①	H20～H22	質の高い大学教育推進プログラム	歯学部	医療と造形	これまで選択科目として試行的に行なわれてきた「彫刻」を、手を使った造形能力が特に要求される歯学部歯学科学学生全員を対象とする新科目「医療と造形」へと発展させ、塑像制作実習を中心に据えた作品づくりを通して、身体のかたちと機能を理解することを目的とした歯学部と教養部の連携教育として実施する。 (http://www.tmd.ac.jp/dent/program/tmd03/index.html)
②	H20～H22	質の高い大学教育推進プログラム	歯学部	下級生が上級生に教わる歯科臨床体験実習	優れた技術とコミュニケーション能力をもち、歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者の育成を目的とするとともに、早期の臨床体験に対する学生のニーズに応えるべく、下級生が臨床実習中の上級生から教わる臨床体験実習プログラムの開発・実施を行う。 (http://www.tmd.ac.jp/dent/program/tmd02/index.html)
③	H21～H23	大学教育・学生支援推進事業【テーマA】 大学教育推進プログラム	歯学部	コンピュータによる診療模擬実習の展開	本取組では、医療系総合大学の学生が共通して、または相互に学ぶべき症例等に関する教材を、学科を超えて共同開発し、全学科の学生が、時間や空間の制約なく学べる教育システムを構築し、これにより、学生の臨床推論能力、臨床判断能力、問題解決能力、チーム医療実践力を培い、医療人としての学士力を確保する。 (http://www.tmd.ac.jp/dent/program/tmd04/index.html)
④	H20～H22	大学院教育改革支援プログラム	医歯学総合研究科	歯科医学における基礎・臨床ボーダレス教育	従来の分野における臨床教育、基礎教育に加え、基礎・臨床融合型教育研究システムを構築し、さらに国際化支援を行い、優れた研究能力等を備えた臨床歯科医等の育成、臨床指向型研究分野で世界をリードする研究者の育成を行う。 (http://www.tmd.ac.jp/dent/cell/borderless/index.html)
⑤	H20～H22	大学院教育改革支援プログラム	保健衛生学研究科	看護学国際人育成プログラム	グローバルな素養と見識を習得するためのアカデミックトレーニングを実施し、看護学国際人の育成を図る。 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/daigaku/Allied_Health_Sciences/kangokokusai.html)
⑥	H20～H22	社会人の学び直し ニーズ対応教育推進プログラム	医歯学教育システム研究センター	医師不足、診療科偏在の解消に向けた ママさんドクター・リターン支援プログラム	医師不足・診療科偏在を解消するための有効かつ実現可能な対応策の一つである離職女性医師の職場復帰を促進するために、離職女性医師をリクルートし、現場へすみやかに復帰できるように潜在能力を再教育する。 (http://www.tmd.ac.jp/mdc/return/index.html)
⑦	H20～H24	グローバルCOEプログラム	-	歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点	歯と骨の分子疾患科学について、21世紀COEの成果を発展的に継承し、世界最先端の研究を展開して、合わせて次世代を担う国際的に活躍する若手研究者を養成する。大学院生については、アドバンスト・I・スーパースチューデントを採用し重点的な教育と経済支援の対象とし、新しい国際的教育を加え自ら選択することにより、国際的に活躍する次世代の個を伸ばす若手研究者の育成を行う。 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/gcoe/index.html)
⑧	H20～H22	大学教育の国際化加速プログラム	生命情報科学教育部	異分野間融合型疾患生命科学教育の国際連携	生命情報科学教育部において、これまで推進してきた連携大学院制度と教育の国際化を、国境を越えて展開し、海外の教員と協力した国際複数学位（修士）指導員制度を実現して、国際教育研究拠点形成に向けて高度化する。 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/over_view/gaiyou/Interdisciplinary_Disease.pdf)
⑨	H21～H23	大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム（総合的連携型）	生命情報科学教育部	学際生命科学東京コンソーシアムによる全人的大学院人材育成拠点の確立	本学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学の四大学の学際生命科学領域が中核となり、首都圏の様々な研究機関・企業・自治体と連携の輪を広げて産官学地域ネットワークを確立し、さらに、四大学が地域ネットワークと連携しつつ補完的に大学院共通カリキュラムの開発やインターンシップ共同実施、学生支援共同実施等の教育高度化システム構築や地域連携を行うことにより、国・私立の枠を超えて地域と連携した異分野融合的教育研究環境を構築し、幅広い学識を備え真の社会ニーズを理解して探究できる人材の育成を行うとともに生命科学領域の産官学地域拠点形成を行う。 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/soumu/kouhou/tmdnews/090309.html)
⑩	H20～H24	産学官連携戦略展開事業	知的財産本部	国際的な産学官連携活動の推進	本事業は、大学等の知的財産戦略などが持続的に展開されるよう支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的とする。基本特許の国際的な権利取得、海外企業からの共同研究・受託研究の拡大、知的財産人材の育成・確保など、国際的な産学官連携体制の強化を図る。平成19年からは国際産学官連携部門を中心に、海外への技術移転活動を活発に行う。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-list/iug/index.html)
⑪	H20～H22	独創的シーズ展開事業大学発ベンチャー創出推進	生体材料工学研究所	ディスプレイ、磁気浮上遠心血液ポンプの研究開発	本研究は2004年から本学をはじめ4大学連合で研究開発が進められてきた磁気浮上技術を遠心血液ポンプ技術に応用し、ミニマム抗凝固剤の使用により、従来の血液ポンプの耐久性、生体適合性の改善等を目指す。基礎性能、耐久性を確認後、デバイスの安全性、有効性について評価し、産学連携を通して企業化を行い、国内外での臨床治験を進め、社会への還元を目指す。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-list/innovative-seeds/index.html)

⑫	H21 ～	JST先端計測分析技術・機器開発事業「機器開発プログラム」	医歯学 総合研 究科	「誘電スペクトロ サイトメーターの 開発」	本開発は、マイクロ流路中を高速で流れる細胞の誘電スペクトルを瞬時に分析して標的細胞のみを採取する誘電スペクトロサイトメーターの実現を目指す。これにより、標的細胞を染色せず生きたまま採取する単一細胞分析技術の装置化が可能となり、将来的に再生医学の先端研究分野に大きく寄与することが期待される。
⑬	H21 ～ H25	地球規模課題対応国際科学技術協力事業	医 歯 学 総 合 研 究 科	開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究 ーガーナ由来薬用植物による抗ウイルス及び抗寄生虫活性候補物質の研究ー	ウイルス制御学・国際寄生虫病学・免疫治療学各教員を中心として、ウイルス複製、寄生虫増殖を抑制する薬用植物中の有効成分の研究を開始し、ガーナ野口記念医学研究所と感染症治療に有効な生薬有効成分について共同研究を行う。なお、研究を開始して間もなくカカオ豆の生豆の中に抗ウイルス活性物質が多く含まれることがわかり、今後の進展が期待される。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/international/index.html)
⑭	H21	大学改革推進事業 「看護職キャリアシステム構築プラン」	-	看護職 I K A S H I K A キャリアパスの開発～メンター P B L 方式による～	医学部付属病院看護部と保健衛生学科が連携して臨床研修方法や体制を開発し、看護職及び基礎教育課程の教育レベルを向上させることによって、効率的・継続的な専門能力の向上を目指し、キャリア形成を系統的、効果的に支援するためにメンタリングと問題基盤型学習 (PBL: Problem based learning) 技法を取り入れ、各人の目標達成を支援することを目指しています。 (http://www.careerpath.jp/)
⑮	H20 H21	政策課題対応経費によるプログラム	医学部	国際的に豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成	海外の提携大学医学部の教育理念を取り入れ、日本に適した新しい医学・歯学教育方法を開発し、臨床面・研究面において国際水準を超える医師・医学研究者を養成するほか、成果を我が国全体に発信する。 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/over_view/gaiyou/medical_leaders.pdf)
⑯	H20 H21	政策課題対応経費によるプログラム	教養部	医歯学系大学における教養教育モデルの形成 - 東京医科歯科大学におけるリベラルアーツ教育の高度化 -	高度職業人である医療人に必要な教養として、人文社会自然科学系の多角的な視点、高い言語能力と他者とのコミュニケーション能力、専門知識を得るために必要な自然科学の基礎学力、自己の心身を把握し管理する能力を身につけるための教育モデルを形成する。 (http://www.tmd.ac.jp/artsci/Gaisan/index.htm)
⑰	H20 ～ H22	科学技術振興調整費 「女性研究者支援モデル育成事業」	-	女性研究者への革新的支援	本プログラムでは、女性研究者がその能力を最大限に発揮できるように、環境整備と意識改革を重点的に進めており、プログラムの推進にあたっては、担当特任教授が着任し、女性研究者支援室を開設するとともに、女性研究者支援対策会議を立ち上げ、施策の立案・実施体制の整備を行っている。 (http://www.tmd.ac.jp/mri/ang/)
⑱	H20	特別教育研究経費	生体材料工学 研究所	センシングバイオロジーにおける基盤技術の戦略推進事業	生命現象や疾病情報を直接生体内で計測 (センシング) する研究の需要が高まっており、一定期間継続的に変化を計測し解析する「時系列解析」、柔軟かく生体適合性に優れた計測デバイスや細胞情報との対話が可能な有機高分子デバイス等をはじめとして、本学がこれまで培ってきたセンシング技術の研究開発を戦略的に推進し、医科・歯科の領域への発展に貢献する。 (http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/sb/index.html)
⑲	H21 ～ H23	組織的な大学院教育改革推進プログラム	生命情報科学 教育部	情報学と生命医学の発展的融合教育の新展開	本学と東京工業大学が共同で、四大学連合の実績に立ち、情報学と生命医学の融合教育プログラムの開発を推進するとともに、学生が生命ダイナミズムに関する情報概念やスーパーコンピュータ上の並列計算を含む最先端の情報工学を学び、次世代シークエンサーなどが産出する膨大なパーソナルゲノム情報の意味を解析できる能力を身につけ、パーソナルゲノム先端医療をリードできる人材育成を行う。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/educational-reform/index.html)
⑳	H21 ～ H23	科学技術振興調整費 (国際共同研究の推進 先進技術を基盤とした地域共通課題解決型共同研究)	疾患生命科学 研究部	鳥インフルエンザ治療薬の国際共同開発研究	本学研究代表者らが開発した抗ウイルス薬は、鳥インフルエンザに対しても効果が期待できるため、本国際共同研究に参加するハノイ医科大学およびベトナム国立ワクチン微生物研究所の研究者と協力して開発を推進し、次世代研究者の組織的交流を促すとともに、最新の創薬技術の普及と研究者育成を図る。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/bird-flu/index.html)
㉑	H21 ～ H22	若手研究者交流支援事業-東アジア首脳会議参加国からの招へい	医 歯 学 総 合 研 究 科	医歯学領域の若手研究者育成事業 - 東南アジア国際医療ネットワークの構築 -	本事業では若手研究者の人材育成を行い、東南アジア諸国において医療ネットワークを構築することを目指しています。若手研究者を継続して支援していくことで、高度専門医療人の育成、医歯学領域の研究・教育・臨床における国際化の推進、日本を中心とした教育者・研究者・医療人の国際ネットワークの形成・強化を図る。平成21年度第1回の事業目標として、対象国としてタイを選定し、本学の大学院医歯学総合研究科で学位を取得した歯学・歯科医療分野の帰国留学生を中心とした学術交流を行った。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/researcher/index.html)
㉒	H21 ～ H24	日中韓フォーサイト事業	医 歯 学 総 合 研 究 科	胃がん発症におけるエビジェネティック変化の関与	胃癌は日本・中国・韓国において頻度の高い癌なので、3カ国の研究機関が連携して胃癌症例におけるエビジェネティックな変化 (遺伝子そのものには変化は無いが発現が変化する) を解析し、胃癌の新たな診断、予防、治療法を開発する。また、若手研究者を始めとして、3カ国間の人的交流にも力を入れる。 (http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/fortsight/index.html)

資料1-1-5

平成 20・21 年度国内外提携大学等一覧

(出典：評価情報室作成)

番号	提携年度	提携大学名	本学提携先	参考URL
①	H21	チュラロンコン大学 (タイ王国)	医学部	[URL] 【Bloom!No.8 14頁】 http://www.tmd.ac.jp/artis-cms/cms-files/20100323-134108-9434.pdf
②	H21	ナレスワン大学 (タイ王国)	歯学部	[URL] 【Bloom!No.8 15頁】 http://www.tmd.ac.jp/artis-cms/cms-files/20100323-134108-9434.pdf
④	H21	マサリク大学 (チェコ共和国)	医学部	[URL] 【Bloom!No.8 14頁】 http://www.tmd.ac.jp/artis-cms/cms-files/20100323-134108-9434.pdf
⑤	H20	同済大学口腔医学院 (中華人民共和国)	大学院医歯学総合研究科・歯学部	[URL] http://www.tmd.ac.jp/international/agreement-school/index.html
⑥	H20	中国医科大学 (中華人民共和国)	大学院生命情報科学教育部・大学院疾患生命科学研究所	[URL] http://www.tmd.ac.jp/international/agreement-school/index.html
⑦	H21	内蒙古医学院 (中華人民共和国)	歯学部	[URL] 【Bloom!No.8 14頁】 http://www.tmd.ac.jp/artis-cms/cms-files/20100323-134108-9434.pdf
⑧	H20	シェフィールド大学 (英国)	大学院医歯学総合研究科・大学院保健衛生学研究科・医学部	[URL] http://www.tmd.ac.jp/international/agreement-school/index.html
⑨	H20	キングスカレッジ (英国)	大学院医歯学総合研究科・歯学部	[URL] http://www.tmd.ac.jp/international/agreement-school/index.html
⑩	H21	ワシントン大学 (米国)	大学院医歯学総合研究科	[URL] http://www.tmd.ac.jp/international/agreement-school/index.html
⑪	H20	東京理科大学	大学院医歯学総合研究科	
⑫	H20	お茶の水女子大学	大学 (大学院)	[URL] http://www.tmd.ac.jp/news/080905_1/index.html
⑬	H20	順天堂大学	大学院医歯学総合研究科	
⑭	H20	明治大学	大学	[URL] http://www.tmd.ac.jp/news/081224/index.html
⑮	H20	北里大学	大学 (大学院)	[URL] http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/support-university/index.html
⑯	H20	学習院大学	大学 (大学院)	[URL] http://www.tmd.ac.jp/research/project-2009/support-university/index.html
⑰	H21	東京薬科大学	大学 (大学院)	
⑱	H21	文京区	大学	[文京区ウェブサイト] http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_academysyougakusyu_daigakukyoutei_daigakukyoutei.html

資料1-1-6

平成20・21年度新規開設センター

(出典：評価情報室作成（各センター規則抜粋）)

年度	センター名	目的	業務・規則等
H21	国際交流センター	国際交流に関する統括的な業務を実施し、本学の国際交流を推進することにより、教育研究の質の向上に寄与する。	(1) 教育、研究及び医療に関する国際化推進対策 (2) 外国人留学生の確保対策 (3) 外国人留学生に対する日本語教育 (4) 外国人留学生及び海外留学を希望する学生並びに教職員に対する修学上及び生活上の指導助言 (5) 学生及び教職員に対する国際化教育及び海外留学支援 (6) 留学生教育に係る調査研究 (7) 国際交流に関する各種事業の企画立案及び情報収集並びに提供等 (8) 海外への情報発信 (9) その他センターの目的を達成するために必要な業務 規則：国立大学法人東京医科歯科大学国際交流センター規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/10hen/6shou/10601kokusai.pdf) HP： http://www.tmd.ac.jp/isc/index_j.html
H21	スチューデントセンター	本学の学生に対し、生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど本学におけるキャンパスライフ全般にわたり、全学的に支援を行い、もって学生支援活動の充実を図る。	(1) 生活支援に関すること。 (2) 修学支援に関すること。 (3) 就職支援に関すること。 (4) メンタルヘルスに関する相談及びカウンセリングに関すること（保健管理センターと連携して行う。） (5) ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。 (6) その他センターの目的を遂行するために必要な業務 規則：国立大学法人東京医科歯科大学スチューデントセンター規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/10hen/9shou/10901student.pdf) HP： http://www.tmd.ac.jp/labs/sc/index.html
(参考) H22 開設	図書館情報メディア機構	本学における教育、研究及び学習に必要な医歯学情報等の図書及びその他必要な資料等の収集・整理・管理・運用等を行うとともに、医歯学メディア教育開発の促進、情報通信技術の総合的な利用の促進を図る。	(1) メディア教育推進部門、図書館、図書館国府台分館及び情報基盤部門の管理運用に関すること。 (2) 医歯学メディア教育開発に関すること。 (3) e-learning 管理・活用支援に関すること。 (4) 情報リテラシー教育、情報モラル教育の実施に関すること。 規則：国立大学法人東京医科歯科大学図書館情報メディア機構規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/8hen/5shou/8501kiko.pdf) HP： http://www.tmd.ac.jp/LMIT/
(参考) H22 開設	医歯学融合教育支援センター	教育資源を有効に活用し、高齢化社会に対応する包括的医療教育の推進及び教育の質の維持・向上を図るため、医歯学融合型教育を新たに構築し、高度かつ効率的な教育体制を整備すること。	(1) 包括的医療教育カリキュラムを開発導入し、医学科と歯学科の専門課程カリキュラムを一部共通化に関すること。 (2) 保健衛生学科及び口腔保健学科も含めた包括的な医療教育カリキュラムの開発に関すること。 (3) 専門診療科に属する認定医を主たる対象として、周辺領域・関連領域の医療を含む包括的な医療が実践できる研修プログラムの計画及び実施に関すること。 (4) 医歯学融合教育に関する調査・研究 (5) その他センターの目的を達成するために必要な業務 規則：国立大学法人東京医科歯科大学医歯学融合教育支援センター規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/10hen/5shou/10501yuugou.pdf)
(参考) H22 より 常置化	生命倫理研究センター	医療倫理・研究倫理・生命倫理分野における教育を実践するとともに、先進的研究の促進を図るための国内外の研究支援ネットワークを確立し、さらに医歯学研究と生命倫理に関わる諸問題についての学際的研究の展開を目的とする。	(1) 生命倫理学教育の実施に関すること。 (2) 生命倫理に関する学際的研究に関すること。 (3) 国内外の研究支援ネットワークに関すること。 (4) 基礎および臨床研究計画支援に関すること。 (5) 研究倫理審査の支援に関すること。 (6) 遺伝子診療外来に関すること。 規則：国立大学法人東京医科歯科大学生命倫理研究センター規則 (http://www.tmd.ac.jp/cmn/rules/houki/10hen/4shou/10401rinri.pdf) HP： http://www.tmd.ac.jp/labs/school/berc/index.html

証人とし、連署しなければならない。

(身分等変更の届出)

第8条 奨学生は、次の各号のいずれかに該当する場合は、異動届（別紙様式5）により直ちに学務部学生支援課に届けなければならない。ただし、本人の病気・死亡などの場合は、連帯保証人が代わって届けなければならない。

- (1) 休学、退学及び復学
- (2) 本人又は連帯保証人の氏名、住所、その他重要事項の変更

(支給の停止)

第9条 休学をしている期間については、奨学金の支給を停止する。
2 前項により奨学金の支給を停止されている者が復学した場合、第8条の届出により奨学金の支給を再開するものとする。

(失格)

第10条 学長が次の各号のいずれかにより不適格と認めた場合、又は退学をした場合には奨学生はその資格を失い、奨学金の支給を取り消す。

- (1) 懲戒、又は停学の処分を受けたとき
- (2) 申請書又は提出書類の記載内容に虚偽があった場合
- (3) 正当な理由がなく第8条に定める届出を怠った場合
- (4) その他奨学生として学長が不適当と認めた場合

(返還)

第11条 奨学生が前条の規定により資格を失った場合は、すでに給付された金額の全部または一部を返還しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、申し出によりすでに給付された奨学金の全部または一部の返還を免除することができる。

- (1) 死亡した場合
- (2) その他特別な事由のある場合

(事務)

第12条 研究者早期育成コース進学生対象の奨学金給付に関する運営事務は、学務部学生支援課の所管とする。

附 則

- 1 この規則は、平成21年3月26日から施行する。
- 2 現に研究者早期育成コースに在学している学生は、第5条の規定にかかわらず平成21年3月末日までに奨学生願書（別紙様式1）に在学証明書を添えて学務部学生支援課に申請できるものとする。
附 則（平成21年3月30日規則第21号）
この規則は、平成21年4月1日から施行する。

研究者早期育成コース進学生対象の奨学金給付規則

（平成21年3月26日
規則第12号）

(目的)

第1条 この規則は、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程MD-PhD（医学研究者早期育成）コース又はDDS-PhD（歯学研究早期育成）コース（以下「研究者早期育成コース」という。）へ入学する者に対し、今後の学業の励みとするため、奨学金を給付することを目的とする。

(資格)

第2条 奨学金の給付を受ける者（以下「奨学生」という。）は、次の各号に掲げる要件を満たす者とする。

- (1) 強い研究の意欲を持っていること。
- (2) 学業成績、人物共に優秀であること。

(奨学金の種類及び支給額)

第3条 奨学金の種類及び支給額は次のとおりとする。

- | | |
|-----------------------------|--------|
| (1) MD-PhD（医学研究者早期育成）コース奨学金 | 月額 8万円 |
| (2) DDS-PhD（歯学研究早期育成）コース奨学金 | 月額 8万円 |

(期間・支給方法)

第4条 支給の期間は3カ年を限度とする。ただし、特別な事情がある場合は、1カ年に限り延長することができるものとする。

2 奨学金は原則として、毎月末日までに奨学生より指定された銀行口座への振込により交付する。ただし、初回の奨学金の交付は、4月分から初回交付月分をまとめて振り込むものとする。

(申請)

第5条 支給を受けようとする者は、研究者早期育成コースへ入学する前の年度の3月末日までに奨学生願書（別紙様式1）に研究者早期育成コース合格通知書の写しを添えて、学務部学生支援課に申請するものとする。

(選考・決定)

第6条 申請があったときは、別に定める基準により医歯学総合研究科長が審査し、学長が決定の上、奨学生採用決定通知書（別紙様式2）により通知する。

(誓約書)

第7条 奨学生として決定された者は、誓約書（別紙様式3）及び奨学金銀行振込依頼書（別紙様式4）を学務部学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の誓約書は、奨学生の父母、兄弟又はこれに代わる独立の生計を営む者を連帯保

奨学生願書

奨学金の種類	
MD-PhD コース奨学金	DDS-PhD コース奨学金

(いずれかに○を付すこと)

出願者	ふりがな氏名	生年月日	年	月	日	年齢	歳	性別	男	女		
出願者	学部／専攻											
	大学院入学年月	年	月	年	月	給付期間	年	月	から	年	月	まで
	大学院修了予定年月	年	月	年	月	修了(予定)	年	月	年	月	まで	
	本籍	(都道府県のみ)										
出願者	現住所	〒 (Tel)										
研究計画及び修了後の方針												
奨学生に採用していただきたく、お願いいたします。												
東京医科歯科大学長 殿												
東京医科歯科大学長 印												

奨学生採用決定通知書

研究者早期育成コース進学生対象の奨学生として採用する。

1	学年・学籍番号	研究科	学年	番号		
2	氏名					
3	奨学生番号					
4	給付額	月額	8万円			
5	給付期間	年	月	年	月	まで
6	支給条件	日本学術振興会特別研究員 (DC) に採用された期間は、辞退するものとする。				

年 月 日

東京医科歯科大学長

〇 〇 〇 印

誓 約 書

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

奨 学 生 氏 名 住所 印

連 帯 保 証 人 氏 名 住所 印

私は、研究者早期育成コース進学学生対象の奨学金給付規則の規定を遵守し、奨学生として学業・研究に打ち込むことを、連帯保証人と連署して誓約します。

連帯保証人関係事項(連帯保証人本人が記入してください。)	住所	〒		Tel	
	本人との続柄	生年月日	年	月	日生(歳)
	職業	勤務先	〒 (名称)		

奨学金銀行振込(変更)依頼書

年 月 日

東京医科歯科大学
財務部長 殿

学部／研究科 学年 番

奨学生番号	氏 名	現 住 所
	印	Tel

下記により銀行振込をお願いいたします。

記

金融機関名	銀 行	
支 店	信 用 庫	
預金種目	普通・その他()	
口座番号		
名 義 人	ふりがな	
	氏 名	
給付期間	年 月 年 月	

別紙様式5(第8条関係)

異動届

東京医科歯科大学長 殿
年 月 日

大学院医歯学総合研究科 学年

奨学生番号					氏 名
					印

下記のとおり異動いたしますので、お届けいたします。

記

異動種別	異動年月日又は期間	理 由
退 学	年 月 日	
休 学	年 月 日 ～ 年 月 日	
復 学	年 月 日	
氏名/住所 の変更	年 月 日	(旧)
		(新)
		変更する者 奨学生 ・ 連帯保証人 (いずれかに ○ を付すこと)

注) 該当する異動種別を○で囲む。

がん治療高度専門医 養成プログラム

プログラム概要

養成計画

共同申請の場合の
大学ごとの役割分担

コース紹介

大学 本年度の実施計画
内容、成果等

カリキュラム

がんプロフェッショナル
養成プラン申請書（様式）

養成計画

TOP > 養成計画

本プランのがん専門医療人養成計画のコースは大きく3つに分かれています。

がん専門医師養成コース

がん放射線療法専門医師 養成コース

学 位 博士(医学、歯学)
養成人数 5人
修了要件 必修32単位
選 択 4単位

がん化学療法専門医師 養成コース

学 位 博士(医学、歯学)
養成人数 6人
修了要件 必修32単位
選 択 4単位

がん緩和ケア専門医師 養成コース

学 位 博士(医学、歯学)
養成人数 4人
修了要件 必修30単位
選 択 6単位

コメディカル養成コース

がん看護専門看護師 養成コース

学 位 修士(看護学)、博士(看護学)
養成人数 4人
修了要件 必修26単位
博士(前期・後期)再課程で履修可能

医学物理士 養成コース

学 位 修士
養成人数 4人
修了要件 必修16単位
選 択 10単位以上

放射線治療品質管理士 養成コース

学 位 修士
養成人数 4人
修了要件 必修23単位
選 択 3単位以上

インテンシブコース

がん医療専門医師研修 (インテンシブ)コース

研修専門分野
放射線療法
化学療法
緩和ケア

受入れ予定人数
各専門分野合計
15名程度(毎年度)

期 間 2ヶ月
合 計 120時間

養成計画（履修方法）

がん医療に携わる専門医師養成コース

がん放射線療法専門医師養成コース、がん化学療法専門医師養成コース、がん緩和ケア専門医師養成コースの3領域コースを設ける。講義は領域を季節割りした通年のカリキュラムのため、一人の学生が3領域すべての講義を履修できる。実習は、第2学年で6か月を設定しており、希望すれば最大2領域(1領域1年も可能)の実習が受けられる。各領域の包括的な理解のため、講義・演習については合同開催とするものも配置した。

がん医療に携わる専門のコメディカル養成コース

すでに6コース開設されている専門看護師養成課程にがん看護専門コースを追加する。医学物理士は、平成18年度で既に医学物理士科目修了者(学会仮認定)が出ている。よって、両者とも実効性は保障されている。放射線治療品質管理士養成コースでは医学物理士も同時取得できる構成とした。3領域間においても、専門医師養成コースとも共通科目を設けるとともに、演習も合同で実施するものを設定し、職種領域横断的な教育をめざした。

がん医療に携わる専門医師等の研修(インテンシブ)コース

すでにがん治療専門医として従事している医師を対象とし、それぞれの専門分野に対応する専門医師養成コースの講義内容から、総合・発展を中心にこの目的に適合する講義を選別し8単位相当でセット化し提供する。本コースにおける講義の履修については、科目等履修の扱いとする。また、受講者が実習を希望する場合には本プログラムとは別扱いとし、研修登録医制度を利用することとする。

種別	科目名	備考	単位	専門医師			コメディカル			インテンシブ候補科目
				放射線専門 医師	化学療法専門 医師	緩和医療専門 医師	がん看護 CNS	医学物理士	放射線治療 品質管理士	
〔総合基礎〕										
総合基礎	がんの分子生物学概論	A	1	●	●	○		○	●	★
	がんの細胞生物学概論	A	1	●	●	○		○	●	★
	がんの病理・病態学概論	A	1	●	●	○	○			★
	癌のシステム生物学概論	A	1	○	○	○				
	がん患者学	D	1	●	●	●				★
	がん患者学演習	D	1	○	○	○				
MMA	がんの社会医学概論	A+B	1	○	○	○				★
〔総合発展〕										
総合発展	頭頸部がんの診療	A	1	○	○	○				★
	臓器別がんの診療-1	A	1	○	○	○				★
	臓器別がんの診療-2	A	1	○	○	○				★
	臓器別がんの診療-3	A	1	○	○	○				★
	最先端がん治療のトピックス	A	1	○	○	○		○	●	★
〔放射線療法専門医師養成コース〕										
	放射線物理学・放射線技術学特論	A	1	●						★
	腫瘍放射線生物学特論	E	1	●						★
	腫瘍診断学特論	E	1	○						★
	腫瘍核医学特論	E	1	○						★
	腫瘍放射線治療学特論	E	1	●						★
	放射線治療計画演習	Aほか	1	●				●	●	
〔化学療法専門医養成コース〕										
	抗がん剤薬理学概論	A	1		●					★
	抗がん剤薬理学各論1	A	1		●					★
	抗がん剤薬理学各論2	A	1		●					★
	化学療法治療計画演習1	A	2		○					
	化学療法治療計画演習2	A	2		○					
〔緩和ケア専門医師養成コース〕										
	緩和医療学概論	A	1			●				★
	精神腫瘍学特論	A	1			●				★
	緩和医療における身体症状論	A	1			●				★
	疼痛マネジメント（基本編）	A	1			●				★
	疼痛マネジメント（応用編）	A	1			●				★
	緩和医療におけるリエゾン精神医学特論	D	1	○	○	○				
〔がん治療専門看護師養成コース〕										
CNS共通科目	看護研究法特論	C	2				●			
	看護教育学特論Ⅱ	C	2				●			
	看護政策学特論	C	2				●			
	看護管理学特論	C	2				●			
CNS専門科目 (がん看護)	在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-1	C	2				●			
	在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-2	C	2				●			
	看護病態生理学	C	2				●			
	在宅ケア・緩和ケア看護学演習A	C	2				○			
	在宅ケア・緩和ケア看護学特論B	C	2				●			
	在宅ケア・緩和ケア看護学演習B	C	2				●			
〔医学物理士コース・放射線治療品質管理士コース〕										
	医歯工学概論	E	1					●	●	
	人間安全工学	E	1					●	●	
	人体機能学	E	1					●	○	
	人体解剖病態学	E	1					●	○	
	医用画像情報学	E	2					●	○	
	医用放射線生物学	E	1					●	●	
	医用放射線診断学	E	1					●	○	
	核医学診断学	E	1					●	○	
	放射線治療学	E	1					●	●	
	放射線治療物理学	E	2					●	●	
	核医学物理学	E	1					●	●	
	医用放射線発生装置学	E	1					●	●	
	医療機器開発概論	E	1					●		
	放射線治療計画演習	Aほか	1	●				●	●	
	放射線治療品質管理学演習	A	2						●	
総合演習	がん治療総合演習	A	2				○	○	○	
病院実習										
	がん放射線療法病院実習		24	●						
	がん化学療法病院実習		24		●					
	緩和ケア病院実習		24			●				
	在宅ケア・緩和ケア看護学実習		6				●			
	放射線測定実習		1					●	●	
	放射線医療実習		6					○	●	

A: 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
 B: 東京医科歯科大学 MMA
 C: 東京医科歯科大学 保健衛生学研究科
 D: 日本医科大学（千駄木）
 E: 東京工業大学 医歯工学特別コース（CIC 田町）

● 必修科目
 ○ 選択必修科目

日本がん治療認定医機構のセミナー科目内容に対応

がん治療高度専門家養成プログラム時間割

ペ ー ジ	科 目 名	備考 単位	科目責任者	担当教員及び日程				
がん専門医養成コース								
10	がんの細胞生物学概論	A 1	寺岡弘文 水谷修紀 清水重臣	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日
8	がんの分子生物学概論	A 1	湯浅保仁	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	寺岡弘文
12	がんの病理・病態学概論	A 1	江石 篤信 北川昌伸	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日
20	がんのシステム生物学概論	A 1	田中 博	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	秋田恵一
18	がんの社会医学概論	A+B 1	安野正道	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日
14	がん患者学	D 1	高橋秀実	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
16	がん患者学演習	D 1	高橋秀実	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日
32	緩和医療学概論	A 1	松島英介 萩原隆二	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
34	精神腫瘍学特論	A 1	松島英介	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日
36	緩和医療における身体症状論	A 1	松島英介 山田陽介 山田陽介	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日
38	疼痛マネジメント(基本編)	A 1	松島英介 山田陽介	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日
40	疼痛マネジメント(応用編)	A 1	松島英介 山田陽介	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日
42	緩和医療におけるリゾン精神医学特論	D 1	大久保重朗	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	伊藤恵子
医学物理士養成コース								
医響工学概論				8月24日～8月28日				
				高瀬浩造	高瀬浩造	田中隆三	小杉孝夫	
人間安全工学				小栗慶之	市村祐二郎	八木 透	宇治橋員幸	小杉孝夫
人体機能学				宗田 大	三浦宏之	平尾真三	東條尚子	高瀬浩造
人体解剖・病態学				山田哲夫	山本浩平	秋田恵一	秋田恵一	秋田恵一
医用画像情報学				小尾高史	小尾高史	小尾高史	大山永昭	
放射線物理学・放射線技術学特論				保科正夫	保科正夫	伊藤 彬	伊藤 彬	
医用放射線生物学				三浦雅彦	三浦雅彦	三浦雅彦	三浦雅彦	三浦雅彦
医用放射線診断学・核医学				大橋 勇	大橋 勇	大橋 勇	大橋 勇	大橋 勇
放射線治療学					渋谷 均	渋谷 均	渋谷 均	渋谷 均
放射線治療物理学				E 2	河原俊之	水野秀之	藤松伸幸	水野秀之

核医学物理学	E 1	山谷泰賀	山谷泰賀	(東工大と調整中)	山谷泰賀	山谷泰賀	山谷泰賀
医用放射線発生装置学	E 1	服部俊幸	服部俊幸	(東工大と調整中)	小栗慶之	小栗慶之	小栗 敬
医療機器開発概論	E 1	小杉孝夫	堀川浩太郎	(東工大と調整中)	井出勝久		
がん専門医養成コース							
放射線物理学・放射線技術学特論	E 1	伊藤 彬 保科正夫	保科正夫	9月14日～9月17日	伊藤 彬		
腫瘍放射線生物学特論	E 1	三浦雅彦	三浦雅彦	9月28日～10月2日	三浦雅彦	三浦雅彦	三浦雅彦
腫瘍診断学・核医学特論	E 1	大橋 勇	大橋 勇	10月5日～10月9日	大橋 勇	大橋 勇	大橋 勇
腫瘍放射線治療学特論	E 1	渋谷 均	渋谷 均	10月13日～10月16日	渋谷 均	渋谷 均	渋谷 均
30 抗がん剤薬理学Ⅰ・Ⅱ	A 2	安原真人	安原真人	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日
22 頭頸部がんの診療	A 1	岸本諒司	岸本諒司 横山隆吉	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日
24 腫瘍別がんの診療-1	A 1	三浦 修	青柳 徹 唐澤京之	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日
26 腫瘍別がんの診療-2	A 1	有井雄樹	藤井ゆみ 渋谷 均	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日
28 腫瘍別がんの診療-3	A 1	久保田俊郎	川上 理 林 敬二	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日
最先端がん治療のピックアップ	A 1	三浦雅彦 安野正道	水沼啓之 小嶋一幸	伊丹純 向山耀人	坂井博彦 佐藤公一	坂本達二 秋山秀樹	がん免疫 (入選中)
がん治療専門看護師養成コース							
46 看護病態生理学	C 2	本田彩子 山崎智子	前掲 本曜日 IV時限 4月9日～7月23日				
48 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-1	C 2	本田彩子 山崎智子	前掲 月曜日 I II時限 6月11日～7月27日				
50 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-2	C 2	本田彩子 山崎智子	前掲 金曜日 I II時限 4月10日～6月5日				
52 在宅ケア・緩和ケア看護学演習A	C 2	本田彩子 山崎智子	後掲 火曜日 Ⅲ IV時限 10月6日～2月2日				
54 在宅ケア・緩和ケア看護学特論B	C 2	本田彩子 山崎智子	後掲 月曜日 Ⅲ時限 10月5日～2月22日				
56 在宅ケア・緩和ケア看護学演習B	C 2	本田彩子 山崎智子	後掲 月曜日 IV V時限 日程は未定				

口腔化学・機能コース コースリーダー: 全部床補綴学分野 教授 水口俊介
 サブリーダー: 分子細胞機能学分野 准教授 中兵健一
 口腔機能の全般、すなわち味覚、唾液分泌、咀嚼、発声・発語、嚥下などの口腔機能、およびこれら口腔機能の中核制御、口腔顔面領域の感覚に関する最新の事項、口腔内における感染、炎症、免疫、がんに関する最新の知見を習得する。

17:00開始 校舎棟2F第3講義室

回	年月日	タイトル・講師
1	H21.5.12(火) 第3講義室	味覚の分子神経機構 歯学部口腔保健学科 口腔保健衛生基礎学分野 教授 杉本久美子
2	H21.5.19(火) 第3講義室	咀嚼機能の臨床的評価方法 大学院医歯学総合研究科 部分床義歯補綴学分野 講師 笛木賢治
3	H21.5.26(火) 第3講義室	補綴治療と咀嚼機能 大学院医歯学総合研究科 部分床義歯補綴学分野 講師 笛木賢治
4	H21.6.2(火) 第3講義室	顎顔面欠損と発声・発語障害 大学院医歯学総合研究科 顎顔面補綴学分野 教授 谷口 尚
5	H21.6.3(水) 第3講義室	摂食・嚥下とその評価 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 助教 中根綾子
6	H21.6.10(水) 第3講義室	ヒト顎口腔機能と脳 E大松戸歯学部 顎咬合機能治療学講座 准教授 成田紀之
7	H21.6.16(火) 第3講義室	口腔顔面領域の感覚とその定量的評価方法 大学院医歯学総合研究科 疼痛制御学分野 教授 嶋田昌彦
8	H21.6.30(火) 第3講義室	細菌の感染戦略と感染の成立 大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野 教授 中川一路
9	H21.7.3(金) 第3講義室	摂食行動に関連した感覚・運動制御のしくみ 新潟大学大学院 口腔生理学分野 教授 山村健介
10	H21.7.7(火) 第3講義室	細菌ゲノムから見た病原性獲得の進化機構 大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野 教授 中川一路
11	H21.7.8(水) 第3講義室	歯周病と血管疾患 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 助教 梅田 誠
12	H21.7.9(木) 第3講義室	口腔機能解析に必要な基礎免疫学 大学院医歯学総合研究科 分子免疫学分野 教授 東 みゆき
13	H21.7.14(火) 第3講義室	炎症と抗炎症の科学 大学院医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野 教授 森田育男
14	H21.7.21(火) 第3講義室	がん治療の分子生物学 大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野 教授 三浦雅彦
15	H21.7.22(水) 第3講義室	口腔の前癌病変・前癌状態・癌の診断と治療 大学院医歯学総合研究科 顎口腔科学分野 教授 小村 健

健康科学コース コースリーダー: 歯学教育開発学分野 教授 森尾郁子
 サブリーダー: 健康推進歯学分野 教授 川口陽子
 今日の歯科医学・医療が直面している諸課題について、さまざまな角度から認識を深めることで、大学院で行う自らの研究やその他の活動が、将来、人々の口腔保健の向上にどのように貢献できるかを考察する力を高める。歯科医療の社会的側面に注目し、世界の動向にも目を向ける姿勢を培う。

17:00開始 校舎棟1F第1講義室/校舎棟2F第3講義室

回	年月日	タイトル・講師
1	H21.5.14(木) 第1講義室	オリエンテーション/歯学教育の国際化 大学院医歯学総合研究科 歯学教育開発学分野 教授 森尾郁子
2	H21.5.20(水) 第1講義室	Differences in medical education between Japan and the US 医歯学教育システム研究センター 客員教授 J. Barish
3	H21.5.21(木) 第1講義室	海外の歯学教育 大学院医歯学総合研究科 歯学教育開発学分野 講師 鶴田 潤
4	H21.5.27(水) 第1講義室	口腔保健の最新・ピックス(1) 大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 助教 植野正之
5	H21.5.28(木) 第1講義室	口腔保健の最新・ピックス(2) 大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 講師 品田佳世子
6	H21.6.11(木) 第3講義室	行動科学研究の最先端 大学院医歯学総合研究科 歯科医療行動科学 教授 俣木志朗
7	H21.6.17(水) 第3講義室	歯科医療と倫理 大学院医歯学総合研究科 歯科医療行動科学 教授 俣木志朗
8	H21.6.18(木) 第3講義室	歯科医療の経済学(1) 大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野 助教 五十嵐 公
9	H21.6.24(水) 第3講義室	歯科医療の経済学(2) 大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野 教授 川淵孝一
10	H21.6.25(木) 第3講義室	高齢者の口腔ケアと地域医療連携 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 教授 植松 宏
11	H21.7.1(水) 第3講義室	口腔ケアとEBM 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 教授 植松 宏
12	H21.7.2(木) 第3講義室	教育評価の基礎 医歯学教育システム研究センター 教授 荒木孝二
13	H21.7.15(水) 第3講義室	教育評価の実際と問題点 医歯学教育システム研究センター 教授 荒木孝二
14	H21.7.16(木) 第3講義室	口腔保健の最新・ピックス(3) 大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 教授 川口陽子
15	H21.7.23(木) 第3講義室	まとめ 大学院医歯学総合研究科 歯学教育開発学分野 教授 森尾郁子

組織工学コース コースリーダー: 有機材料学分野 教授 秋吉一成
 サブリーダー: インプラント・口腔再生医学分野 教授 春日井昇平
 先進医療において重要であるバイオマテリアルや計測デバイスについて基礎から応用まで概説する。具体的には、マテリアル工学の基礎と実際、ナノテクノロジー技術を利用した生体情報デバイス、再生医療・組織工学におけるバイオマテリアルおよびドラッグデリバリーシステムについて、最新のトピックスも含めて講義を行う。

18:00開始 生体材料工学研究所3Fセミナー室

回	日時	タイトル・講師
1	H21.5.18(月) 3Fセミナー室	マテリアル工学の基礎 生体材料工学研究所 金属材料学分野 教授 堀 隆夫 准教授 野村直之
2	H21.5.19(火) 3Fセミナー室	バイオポリマー概論 生体材料工学研究所 有機材料学分野 教授 秋吉一成
3	H21.5.20(水) 3Fセミナー室	バイオセラミクス概論 生体材料工学研究所 無機材料学分野 教授 山下仁大 准教授 永井亜希子
4	H21.5.21(木) 3Fセミナー室	金属バイオマテリアル概論 生体材料工学研究所 金属材料学分野 教授 堀 隆夫 准教授 野村直之
5	H21.5.22(金) 3Fセミナー室	人工臓器マテリアル概論 生体材料工学研究所 分子制御学分野 教授 岸田品夫
6	H21.8.7(月) 3Fセミナー室	Human-MEMSのためのバイオデバイス 生体材料工学研究所 計測分野 教授 三林浩二 助教 荒川貴博
7	H21.8.8(火) 3Fセミナー室	構成的アプローチによるチップ上での臓器モデルの再構築(1) 生体材料工学研究所 情報分野 教授 安田賢二
8	H21.8.9(水) 3Fセミナー室	構成的アプローチによるチップ上での臓器モデルの再構築(2) 生体材料工学研究所 情報分野 准教授 金子智行
9	H21.8.20(木) 3Fセミナー室	マイクロデバイス・DNAチップ・プロテインチップ 生体材料工学研究所 計測分野 講師 工藤寛之 特任助教 高橋大志
10	H21.8.21(金) 3Fセミナー室	生体モデリング及びバイオインフォマティクス 大学院生命情報科学教育部生命システムモデリング 教授 増田正 准教授 福岡豊
11	H21.10.5(月) 3Fセミナー室	再生医療概論Ⅰ(基礎編) 生体材料工学研究所 分子制御学分野 教授 岸田品夫
12	H21.10.6(火) 3Fセミナー室	再生医療概論Ⅱ(臨床編・軟組織) 大阪工業大学大学院 生体医工学専攻 教授 藤里俊哉
13	H21.10.7(水) 3Fセミナー室	再生医療概論Ⅲ(臨床編・硬組織) 物質材料研究機構 高次機能生体材料グループリーダー 小林尚俊
14	H21.10.8(木) 3Fセミナー室	ドラッグデリバリーシステム 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 准教授 横山昌幸
15	H21.10.9(金) 3Fセミナー室	遺伝子治療 生体材料工学研究所 分子制御学分野 助教 木村 剛

発生・再構築学コース コースリーダー: 分子発生学分野 教授 井関祥子
 サブリーダー: 口腔病理学分野 教授 山口 朗
 発生および組織再生の基礎知識について学び、さらに口腔を中心として実際の臨床ですでに適用されている組織再生と適用を目指した組織再生研究について学ぶ。また、組織再生過程における発生過程の利用や応用について議論する。

17:00開始 校舎棟2F第3講義室

回	年月日	タイトル・講師
1	H21.9.17(木) 第3講義室	メダカの肝臓発生と再生 難治疾患研究所 発生再生生物学分野 教授 仁科博史
2	H21.9.24(木) 第3講義室	硬組織の形態学 大学院医歯学総合研究科 顎顔面解剖学分野 教授 山下靖雄
3	H21.10.1(木) 第3講義室	歯周組織再生 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 講師 小田 茂
4	H21.10.8(木) 第3講義室	歯牙再生 東京理科大学 基礎工学部 生物工学科 教授 辻 孝
5	H21.10.15(木) 第3講義室	骨組織発生と再生 大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野 教授 山口 朗
6	H21.10.22(木) 第3講義室	歯根形成と歯根-歯周組織再生 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野 助教 太田正人
7	H21.10.29(木) 第3講義室	インプラントと骨再生 歯学部附属病院 インプラント・外求 助教 黒田真司
8	H21.11.5(木) 第3講義室	歯髄炎症と再生 大学院医歯学総合研究科 歯髄生物学分野 助教 川島伸之
9	H21.11.12(木) 第3講義室	発生・再生と再生医療 京都大学 大学院理学研究科 生物科学専攻 教授 阿形清和
10	H21.11.19(木) 第3講義室	再生医療と万能幹細胞 難治疾患研究所 病態生化学分野 教授 寺岡弘文
11	H21.11.26(木) 第3講義室	細胞転写基盤と再生 大学院医歯学総合研究科 ナノメディスン(DNP)講座 助教 小牧浩浩
12	H21.12.3(木) 第3講義室	再生医療の問題点 国立成育医療センター研究所 生殖医療研究部 部長 梅澤明弘
13	H21.12.10(木) 第3講義室	遺伝性疾患と再生医療 大学院医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野 講師 須田直人
14	H21.12.14(木) 第3講義室	イメージング生物学 大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野 准教授 飯村忠浩
15	H21.12.21(木) 第3講義室	再生医療と発生・まとめ 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野 教授 井関祥子

当該コースを選択した大学院生以外も聴講できます。興味のある方は広くご参集下さい。

回数	内 容	担当教員
1	病因・病態解析総論	松浦雅人
2	呼吸器疾患の病因・病態像とデータ解析法	
3	循環器疾患の病因・病態像とデータ解析法	
4	栄養障害の病因・病態像とデータ解析法	
5	免疫疾患の病因・病態像とデータ解析法	
6	代謝異常の病因・病態像とデータ解析法	
7	消化機能の障害と病因・病態像、データ解析法	
8	血液疾患の病因・病態像、データ解析法	
9	中枢神経系の異常と病因・病態像、データ解析法	
10	末梢神経系の異常と病因・病態像、データ解析法	
11	感染症の病因・病態像とデータ解析法	
12	腎・尿路疾患の病因・病態像とデータ解析法	
13	複合的あるいは重篤な臨床事例の呈示と病因・病態像の把握、データ解析(1)	
14	複合的あるいは重篤な臨床事例の呈示と病因・病態像の把握、データ解析(2)	
15	複合的あるいは重篤な臨床事例の呈示と病因・病態像の把握、データ解析(3)	

病因・病態解析学（各専攻共通科目）

2単位（前期 水曜日 Ⅰ・Ⅱ時限）
松 浦 雅 人（本学生命機能情報解析学 教 授）

1. 科目の教育方針
- 様々な病態を呈する患者の具体的事例に関して、その検査データ、臨床所見あるいは看護記録をもとにオムニバス方式で講義と討議を行い、多方面の臨床情報から病因・病態を解析する手法を修得する。
2. 教育目標
- 1) 検査学領域学生は、医療における検査の役割と臨床医の検査に対するニーズを理解する能力を養う。
- 2) 看護学領域学生は、看護記録や検査情報、臨床所見に基づく病態生理に関するアセスメント技法を学び、看護ケアに生かす能力を養う。
- 3) 病因・病態解明に果たす各医療専門職の役割と、チーム医療のあり方について考える。
3. 教育内容
- 表に示す。
4. 教育の進め方、運営
- 教員が、事例の情報を提示するので、学生は全員参加による質疑、討議を行う。教員は、学生の病因・病態解析の能力を高める働きかけを行う。
- 1) 各事例の臨床所見、検査データ、看護記録をアセスメントし、その意味するものを考える。
- 2) 授業では、発表、質疑、討議を通して、事例の病態像の解明をおこない、アセスメント、ならびに解明能力を養う。
- 3) 学生による複雑かつ重篤な臨床像を呈する事例の提示とその解釈を試みる。
5. 評価
- 評価は、担当プレゼンテーションならびに授業への参加状況でみる。必要に応じて、レポートを課す。

1. 広報誌

(出典：評価情報室作成)

年度	広報誌名	内容概略・大学ホームページ掲載URL
H20	Bloom NO. 6	○「大山新学長就任」新体制発足 ○特集：「法人化4年を振り返る I」 ・ハーバード教育連携を経て医学教育改革を考える ・歯科教育改革4年間の取り組みを語る ・「21世紀COEプログラム」採択の2大研究その採択と展望 ・最先端医学・歯学研究 ・医学部附属病院 その過去 現在 未来 ・歯学部附属病院 法人化4年を振り返って ・数字で見る法人化4年 ほか 【URL】：http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/topics/2002_/BloomNo6.pdf
	Bloom NO. 7	○「年頭の挨拶」大山喬史学長 ○特集：「法人化4年を振り返る II」 ○特別寄稿 ・COE からグローバルCOE へ 野田政樹教授 ・西アフリカを舞台とした感染症研究 太田伸生教授 ・【産学連携】ソニー オープンラボ ○受賞教員紹介 ほか 【URL】：http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/topics/2002_/BloomNo7.pdf
	TMDU ANNUAL NEWS Vol 1	○Message from the President Takashi Ohyama, DDS, PhD President ○International Exchange Activities in TMDU : Recent Progress and Future Plans ○International Collaborations with Ghana / Chile / Southeast Asia / USA / UK ○Overseas Studies in : Germany / UK / Europe / USA / Asia-Pacific ○Surugadai International Symposium 2008 ○Inaugural TMDU Summer Symposium 2009 ○Press-release Summary of School Year 2008 ○Global COE Program ○TMDU's Efforts and Progress Since Incorporation in 2004 【URL】：http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/over_view/TMDU_ANNUAL_NEWS_1.pdf
H21	Bloom NO. 8	○巻頭対談：「知と癒しの匠を創造する」 大山喬史学長、佐々木成理事 ○国際交流センター ○interview ・海外提携プロジェクトの推進〈ガーナ・チリ・タイ・米国・英国〉 ・グローバルCOEプログラム ・生体材料工学研究所人材養成プログラム ほか 【URL】：http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/topics/2002_/BloomNo8.pdf
	Bloom NO. 9	○巻頭座談会：2010年度 第二期中期目標・中期計画スタート これからの東京医科歯科大学を考える 大山喬史学長 佐々木成理事 須田英明理事 森田育男理事 吉澤靖之理事 谷本雅男理事 ○部局長インタビュー 医学部／歯学部／教養部／生体材料工学研究所／難治疾患研究所 ○「未来の医療を考える」学生座談会 ほか 【URL】：http://www.tmd.ac.jp/cmn/adm/topics/2002_/BloomNo9.pdf

2. ニュース (<http://www.tmd.ac.jp/news/index.html>)

年度	ニュース名
H20	新学長就任挨拶
	平成20年度学部入学式
	平成20年度大学院入学式
	東京医科歯科大学医学部とガーナ大学野口記念医学研究所との間で学術交流協定調印式を開催
	バイオ医療オミックス情報学人材養成プログラム 第二期終了式
	6月30日から湯島・本郷地区が路上喫煙禁止地区に指定
	ハーバード大学医学部 臨床実習 派遣学生帰国報告会
	平成20年度 第1回 安全衛生に係わる研修会
	平成20年度海外研修奨励金贈呈式
	平成21年度HMS派遣学生内定通知書交付式
	お茶ノ水女子大学との学生交流に関する協定書の調印式
	第45回「弥生会」親睦会に103名が旧交
	東京医科歯科大学と明治大学との連携・協力に関する覚書調印式
	東京医科歯科大学で学際生命科学東京コンソーシアム準備委員会を開催
H21	医学部附属病院看護師に消防総監感謝状
	医学部附属病院がドクターカーの運用を開始
	医歯学特別研究員（MD-PhDコース）称号付与 および奨学生採用決定通知書授与式
	平成24年度からの「大学入試センター試験」利用教科・科目の変更について（予告）
	薬物乱用防止講演会（学生向け）を開催
	東京医科歯科大学・チリ国保健省・クリニック・ラス・コンデスとの三者間で、大腸癌に関する臨床・科学・学術に関する協定を締結
	平成21年度 第1回 安全衛生に係わる研修会
	本学キャンパスイラストが「湯島本郷百景」の一つとして「切手」と「ポストカード」として発売
	平成21年度海外研修奨励金贈呈式
	ガーナ共和国、野口記念医学研究所にて「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」による研究拠点のローンチセレモニー（開所式）を開催
	平成21年度自衛消防隊操法大会
	新しいシミュレーション実習室の稼働開始
	大学公開講座を開催
	入試課移転のお知らせ
	東京医科歯科大学、医歯学総合研究棟Ⅱ期棟の屋外LEDサイン点灯式を挙行政
	平成21年度 第2回 安全衛生に係わる研修会
	チリ国に中南米の研究拠点を開設 「早期大腸癌診断と治療」に関する研究拠点構築を目指す
	第46回「弥生会」親睦会に101名が旧交
	タイ、チュラロンコン大学にて、「チュラロンコン大学ー 東京医科歯科大学研究教育協力センター」設置合意書調印式等を開催
	平成21年度 医学教育等関係業務功労者表彰記念品贈呈式
	平成22年度入試における新型インフルエンザ対応について
	第22回大学院セミナーを開催
	イヴの夜に巨大クリスマスツリーを表現
	【緊急・重要】入学定員の変更について
	東京医科歯科大学、チリ国保健省、同クリニック・ラス・コンデスとの協定締結について
	平成23年度東京医科歯科大学入学者選抜試験の主な変更点
	学内保育施設「わくわく保育園」開園式
	「カルシウム増感剤による拡張型心筋症の発症予防」
	平成21年度卒業式
	平成21年度学位記授与式

3. プレスリリース一覧 (<http://www.tmd.ac.jp/press-release/index.html>)

年度	プレスリリース名
H20	「患者一人ひとりに合わせた医療」の実現に向けた分子臨床医学データベースを公開 網羅的疾患分子病態データベース (iCOD; Integrated Clinical Omics Database) ー新たな診断・治療・予防法の開発へー
	哺乳類胚発生におけるオートファジーの役割を解明 ーマウス受精卵、自身の細胞内たんぱく質を分解して栄養にー
	「水の通り道(アクアポリン水チャネル)が動く原動力を発見」 ー尿崩症の新たな治療法の開発へー
	「脳内塩素イオンの新しい役割を発見」
H21	「インターフェロンが造血幹細胞の運命決定を制御」 ー副作用の少ない骨髄移植法・慢性白血病治療法の開発へ福音ー
	「幹細胞がストレスに抵抗し品質を保つ仕組みを解明」 ーアンチエイジングや再生医療に光ー
	「肥大型心筋症の新たな原因遺伝子を発見」 ー心臓肥大の新たなメカニズムの解明で治療法の開発に道ー
	「癌をおさえる仕組みが臓器障害を引き起こす」 ー臓器を守る治療の新しい標的ー
	「細胞を浄化する新たなメカニズムを発見」 ー癌、神経疾患などの新規治療法開発に期待ー
	「脊髄小脳変性症の原因を発見」 ー神経難病の遺伝子診断、治療法開発への道を開くー
	「メダカを用いて腸管から肝臓が発生する仕組みを解明」 ー器官形成および疾患モデルとして期待されるメダカー
	「カルシウム増感剤による拡張型心筋症の発症予防」 ー心筋症・心不全の発症を遅らせる薬剤開発への新たな視点ー

オーブンキャンパス概要

(出典：学務部作成平成21年度オーブンキャンパスガイドブックより抜粋)

実施日時：平成21年7月28日、29日

【全学企画①】場所：5号館4階特別講堂

＜入試関連情報＞9:00 入試課長 アドミSSIONポリシーと、入試制度についてお話いたします。
＜医科歯科大学合格への道＞10:00
医科歯科大学に合格し、現在、医学・歯学を学んでいる、医学科5年生および歯学科4年生の学生さん
に、入試突破のコツと合格までの体験記を話していただきます。また、学生生活についても話していただ
きます。先輩の話を聞いてモチベーションを高めましょう。質問の時間も設けます。
＜学長講演「運動能力と脳み合わせ」＞11:00 大山喬史学長
東京医科歯科大学全体についても話していただきます。また、時間があれば質問も受け付けます。この
機会にぜひ参加ください。
＜教養部紹介＞14:00
＜女性研究者支援＞14:30 荒木葉子先生（女性研究者支援室）
医歯学を志す中高生のためのワークショップバランス講座。あなたはイキイキ派、ダラダラ派、それとも
マクスクス派？
＜入試関連情報＞15:00・16:00 入試課長

【全学企画②】場所：5号館3階・ゼミ

＜最新医歯学研究～研究者の話を聞こう～＞13:00
司会：歯学科4年生 富井高樹、稲田友佳 サポート：東みゆき先生（分子免疫学）
実際に日々研究を続けている研究者が、スライドや小道具を用いて、最新の医学・歯学研究の一端を紹
介します。研究を身近に感じてください。
（大学院医歯学総合研究科、保健衛生学研究科、難治疾患研究所、生体材料工学研究所、口腔保健学科）

13:00	医学の研究にはよい動物モデルが有用（10分）	大学院（保）	窪田哲郎先生	7月28日
13:10	生体に学ぶものづくり：ナノサイズの宅配便（15分）	生材研	秋吉一成先生	
13:30	癌と放射線（10分）	大学院（歯）	阿部成宏先生	
13:50	コンピュータで癌の治療ができるって本当？（15分）	大学院（歯）	風間龍之輔先生	
14:10	Cell death in the context of human health and disease（10分）	大学院（医）		
	Kanchanamala Withanage 先生／畑裕先生			
14:20	新しい生体計測を考える（15分）	生材研	三林浩二先生	
14:40	ヒトゲノムの多様性とエイズ（10分）	難研	木村彰方先生	
15:00	新興ウィルス感染症の制圧：画期的新薬をいかに創出するか？（15分）	難研	萩原正敏先生	
15:20	経済学から今の医療を考える（10分）	大学院（歯）	川淵孝一先生	
15:30	ケミカルバイオロジーと創薬（15分）	生材研	影弘近之先生	
13:00	入れ歯は大事（15分）	大学院（歯）	水口俊介先生	7月29日
13:20	幹細胞の特性を利用した軟骨再生医療	大学院（医）	鈴木志郎先生	
13:30	化学から生物へ、そして、くすり（10分）	生材研	玉村啓和先生	
13:50	肥満を科学する～ヒトはなぜ太るのか？～（10分）	難研	小川佳宏先生	
14:10	私たちの体を作るものになる幹細胞のお話（10分）	難研	田賀哲也先生	
14:20	歯周病と生活習慣病（15分）	大学院（歯）	和泉雄一先生	
14:40	骨の働きと減り方（10分）	難研	野田政樹先生	
15:00	動脈硬化の情報を血液から得るために（10分）	大学院（保健）	宇佐美陽子先生	
15:10	医療に用いられるセラミックス（10分）	生材研	永井亜希子先生	
15:30	あなたの血管のなかを覗いてみよう！1-3歳から始まっている動脈硬化を防ぐには	大学院（医）	吉田雅幸先生	
15:40	マウスクリニックで医療職を体験してみよう（15分）	口腔保健	木下淳博先生	

【医学部医学科】

場所：医歯学総合研究棟1期棟2階講義室1（M1）、2（M2）、医歯学総合研究棟1期棟地下1階解剖室（M3）、医科新棟5階症例検討室（M4）、3号館2階スキルストラトリー1（M5）、医歯学総合研究棟1期棟3階医学科演習室3-1～10（M6）、医歯学総合研究棟1期棟4階医学科演習室4-1～12（M7）

1日目、2日目連続プログラム
＜シミュレーターで医師の観察や手技を実体験してみよう！＞M5

28日：14:00、15:00、16:00
29日：10:00、11:00、13:00、14:00、15:00、16:00
（各回開始20分前から、総合受付前で整理券を配布し、学生が誘導いたします。各回限定10名）
医学科の学生や研修医は、モデル（シミュレーター）を用いて、患者診療技能や、手技技能を獲得し、ブラッシュアップしています。医者の世界をシミュレーターで実体験してみましよう。

7月28日（火）司会：大岡信也先生（内科系診療部門）

＜医学科オーブンキャンパスオリエンテーション＞M1 9:30～10:00 森尾女宏先生（発生発達病態学分野）
プログラムの見所、参加にあたっての注意事項などを説明します。

＜模擬授業「チーム医科歯科へようこそ」＞M1 10:00～11:00 荒井裕国先生（心臓機能外科学分野）
直径1mmの血管を心臓が動いたまま縫うオフポンプバイパス手術から、パチスタ手術、人工心臓手術まで、様々な何手術に最新の高度な術式で挑戦している本学心臓外科チームの世界に御案内します。

＜医学科3年生の先輩達と話をしよう、相談しよう＞M6、M7 11:10～12:00（定員120名まで）
11:00にM2に集合してください。5分ほどのオリエンテーションの後、少人数グループに分かれて対話を開始します。医学科の先輩達と受験について、医学科での生活について相談しましょう。
＜ロンドンインペリアルカレッジ（IC）実習体験記＞M1 13:00～13:30 医学部5年IC交換プログラム参加学生

1907年に設立されたイギリスを代表する名門校 Imperial College で交換学生として3ヶ月間研究を行った5年生（当時4年生）の留学体験記。
＜Harvard Medical School での臨床実習＞M1 13:00～14:00 医学部6年ハーバード大学臨床実習参加学生
全米の医学校の中でも最も先進的なHarvard Medical School。5ヵ月間臨床実習を行った、帰国したばかりの学生がその実習とBostonでの生活の全てを語ります。

＜医学科カリキュラム説明「国際水準を超える医学教育を目指して」＞M1 14:10～15:00 田中雄二郎先生（臨床医学教育開発分野、医学科教育委員長）
国際水準を超える医学教育を目指す医科歯科大学の教育カリキュラムと教育改革について、医学科教育委員長が解説します。

ここから2つのプログラム（A、B）に分かれます。
アナウンス、入れ替え 15:00～15:30

A：模擬授業参加希望者はM1にいらしてください。
B：病理実習参加希望者はM2に集合してください。
病理実習の定員は120名です。実習に参加希望者は15:00に必ずM2にお集まりください。

A＜模擬授業「医学・生命科学研究者になろう！」＞M1 15:10～16:00 水島昇先生（細胞生物学分野）

医学部卒業後の進路は多様です。実際の研究を紹介しながら、医学部出身者が基礎研究をすることの重要性、大きなメリット、備かなデメリットを解説します。
＜女子学生のためのガイダンス＞16:10～17:00 M1→M5
1. 現役女子医学生の体験談（3名）30分、2. 現役女子医師による講演 岡田英理子先生（光学医療診療部）10～15分、3. 個別相談会 15分
女子学生や現役女子医師から皆さんへのメッセージです。皆さんの疑問や悩みを直接相談する機会もあります。女性のみなさん参加可

B＜病理実習＞M4～M3 15:10～16:50 江石義信先生（人体病理学分野）、秋田恵一先生（人体解剖学）
M2に集合してください。M2から現地に案内いたします。なお、本実習は学生のみの参加とさせていただきます。保護者の方はご遠慮ください。
1. 病理総説 ビデオ鑑賞 25分、2. 移動 10分、3. グループ実習（20名×6グループ）60分

7月29日(水) 司会：大岡信也先生 (内科系診療部門)

＜医学科オーブンキャンパスオリエンテーション＞M1 9:30～10:00 森尾友宏先生 (発生発達病態学分野)
＜模擬授業「子どもの病気とそれと戦う仲間たち」＞M1 10:00～11:00 水谷修紀先生 (発生発達病態学分野)

子どもの難病について、そしてそれに立ち向かう若手医師についてお話しましょう。それは愛と誠とサイエンスの物語です。

＜医学科3年生の先輩達と話をしよう、相談しよう＞M6、M7 11:10～12:00 (定員120名まで)
＜ロンドンインペリアルカレッジ(IC)実習体験記＞M1 13:00～13:30 医学部5年IC交換プログラム参加学生

＜Harvard Medical School での臨床実習＞M1 13:00～14:00 医学部6年ハーバード大学臨床実習参加学生
＜医学部長挨拶＞M1 14:00～14:10 大野喜久郎先生 (医学部長)

＜医学科カリキュラム説明「国際水準を超える医学教育を目指して」＞M1 14:10～15:00 田中雄二郎先生

A＜模擬授業「精神医学への招待」＞M1 15:10～16:00 西川徹先生 (精神行動医学科学分野)
こころの病と脳のはたらきとの関係を解説し、こころの健康や、こころを病む人々への治療と支援について理解を深めていただきます。

＜女子学生のためのガイダンス＞16:10～17:00 M1→M5

B＜救急蘇生実習＞M2 15:10～17:00 大友康裕先生 (災害救急医学分野)

1. 救急蘇生実習 (No.1) 50分、2. 入れ替え10分、3. 救急蘇生実習 (No.1) 50分
あなたは家族や友人の命を守れますか？正しい心肺蘇生法を学びましょう。本実習は学生のみ参加とさせていただきます。定員は70名です。保護者の方はご遠慮ください。

【医学部保健衛生学科 看護学専攻】

場所：医歯学総合研究棟1期棟18階講義室 (HS-N1)、17階実習室1 (HS-N2)、17階実習室2 (HS-N3)
最大受け入れ数：90名

7月28日(火)、7月29日(水)

＜受付＞HS-N1 13:00 受付で色別のシールと学科案内をお受け取り下さい。

＜看護学専攻の紹介＞HS-N1 13:30～13:55 齋藤やよい先生 (生体・生活機能看護学分野)
本学の看護学専攻ではどのような学生を求めているのか、本学の教育では何を目的として、どのようなカリキュラムが組まれているのかを、看護学専攻長の齋藤が説明します。入学後どのような授業や実習がおこなわれるのか、などDVDやスライドを用いてわかりやすく紹介します。

＜模擬授業＞HS-N1 13:55～14:20 大久保功子先生 (リプロダクティブヘルス看護学分野)
実際の授業を体験してみよう。今回は新生児の持つ能力について大久保がお話します。

講義内容：看護の対象となる方々を理解することが看護ケアの基本です。ですので、今日はその一端として、新生児 (生まれたての赤ちゃん) について様々な理論や研究でわかってきたことについてお話します。目には見えないのか、耳は聞いているのか、生まれたばかりのお子さんを前に、親となった人たちが私たちに必ず質問してくることで。どうでしょうか。実は、新生児はすばらしい能力を持っています。その能力を駆使して、新生児は周りの人々と関わり、人間としての基礎を築いていきます。そんな新生児のお話を少しだけ紹介いたします。

＜実習室演習室ツアー＞HS-N2 14:30～14:55
実習室で、新生児や大人のモデルを使って、血圧、脈拍、体温の測り方や、ケアの仕方を勉強します。実際に触って、実践してみてください。

＜学生との対話＞HS-N3 14:30～14:55
看護学専攻3年生から修士の2年生まで、実際の大学生活について、質問にお答えします。留学経験者の話も聞けるとと思います。

＜実習室演習室ツアー＞HS-N2 15:00～15:25

＜学生との対話＞HS-N3 15:00～15:25

15:30 18階でアンケートにお答えいただき、解散となります。 何か保護者の方々でご質問等がありましたら、時間外で齋藤と大久保がお答えいたします。

【医学部保健衛生学科 検査技術学専攻】

場所：医歯学総合研究棟1期棟8階講義室 (HS-L1)、8階実習室1 (HS-L2)、7階実習室2 (HS-L3)
最大受け入れ数：70名

プログラム7月28日(火)、7月29日(水)

＜受付＞HS-L1 13:00～13:30

＜研究科長あいさつ＞HS-L1 13:30～13:35 (佐藤教授)

＜検査技術学専攻の概要説明＞HS-L1 13:35～14:30 (戸塚教授、窪田准教授)
検査技術学専攻とはどのような専攻であるのか、その概要を説明します。さらに全国の検査技術学専攻の現状を解説し、東京医科歯科大学の検査技術学専攻の役割についてお話します。また、検査技術学専攻ではどのような勉強をするのか、将来どのような進路が考えられるかについてもお話します予定です。

＜模擬授業＞HS-L1 14:30～15:00 (能谷准教授)
実際の授業を体験していただきます。ただし、内容は高校生にわかりやすいように工夫しております。今回は「病理学」の講義を予定しております。

(休額)

＜学生による「学生生活」の紹介＞HS-L1 15:10～15:40 (4年生、大学院生各1名)

在学生 (4年生、大学院生) から学生生活の実践についてお話します。入学試験のことから、サークル活動、授業、住まい、アルバイト、国家試験等の経験をお話し、学生生活を具体的にイメージしていただきます。

＜実習室見学＞HS-L2、HS-L3 15:40～16:40 (栗原助教、吉田助教)

＜閉会の挨拶＞HS-N1 16:40～16:45 (佐藤教授)

(アンケート記入後、解散)

【歯学部歯学科】

場所：歯科外来事務棟4階歯学部特別講堂 (D1)、1号館6階実習室1 (D2)
歯学科オーブンキャンパスは、28日がメインです。29日は、前日の模様のDVD上映のみとなります。
8月25日にも、7月28日とよく似た内容の歯学科説明会を開催予定です。

7月28日(火)

＜歯学部長挨拶＞D1 9:00～9:25 田上順次 歯学部長

＜模擬授業＞D1 9:30～10:20 講師：和泉雄一教授 (歯周病学分野)

実際の授業を体験してみましよう。今回は、歯ぐきの病気と全身との関連について、歯周病学分野教授の和泉先生に講義していただきます。

講義題目：歯周病が全身をおびやかす！

講義内容：最近、ヘルスケアにおける口腔と全身との関連性が科学的に迫られ、歯周病が全身疾患に密接に関係していることが明らかになりました。歯周病患者は、健康人と比較して心疾患、循環器疾患、糖尿病や肺炎を起こすリスクが高く、さらに、早産や低体重児出産の危険率が増加するといわれています。誰もが長寿を謳歌するうえで、健康で文化的な毎日がおくれる生活の質 (QOL) を高めることが大切です。その一助として、歯周病を克服することが急務です。

＜歯学部・病院見学ツアー＞集合場所D1 集合時間 第1回目10:30、第2回目14:30

担当：荒木孝二教授、歯学部教員 (参加希望者は、D1入口にて、事前予約してください、先着60名)
歯学部附属病院や講義・実習室はどうなっているのでしょうか？皆さんの先輩の先生方が、歯学部附属病院、臨床実習治療室、授業中の講義室などを案内してくれます。

＜模擬実習＞D2 10:35～12:00、14:35～16:00

(参加希望者は、D1入口にて、事前予約してください、先着60名)

よい歯科医師になるためには、知識のみならず、技術がともなうことが望まれます。うまくできて、できなくとも、実際に手を動かして体験してみましよう。先輩の先生方が優しく教えてくれます。

・模擬実習 (1) D2 10:35～12:00 講師：鈴木誠一 准教授 (顎顔面矯正学分野)

実習題目：「皆さん、手で曲げられますか？」

内容：歯科矯正を知っていますか。いろいろな装置を歯や顎・顎などに付けることで悪い歯並びを直す治療です。歯並びがきれいになると、見栄えだけでなく、発音や咬む力も正しくなります。今回模擬実習では、実際に歯科矯正を行うときに用いるワイヤー (針金) を曲げることを行います。

東京医科歯科大学

・模範実習（2）D2 14:35～16:00 講師：大槻昌幸准教授（う蝕制御学）

実習題目：「むし歯（う蝕）の治療」

内容：この模範体験実習では、実際に歯学科で行っている「コンボジットレジン修復実習」の一部を体験していただきます。コンボジットレジン修復とは、代表的なう蝕（むし歯）の治療法です。模型の歯を用いて、むし歯を取り除いた後にできた穴（これを窩洞といいます）にレジンをつめて、元どおりの形に復元してもらいます。

＜歯学部・病院見学ツアー＞D1 13:00～14:20 荒木孝二教授（教育委員長）

本学歯学科はどのような学生を求めているのか、本学は他の歯科大学とどのように違うのか、入学後どのようなカリキュラムで授業がおこなわれるのか、どのような生活が待っているのか、卒業後の将来はどうなるのかなどわかりやすく説明します。

＜学生との対話＞D1 16:00～17:00 司会：荒木孝二教授、参加学生：歯学科6年生

歯学科6年生の学生さん達が、実際の大学生活を紹介するとともに、皆さんのいろいろな質問に答えてくれます。入学後の自分の姿をイメージしてみよう。

7月29日（水）

＜DVD上映＞D1 第1回目9:30～12:00、第2回目13:30～16:00

前日の歯学部歯学科説明会（歯学部部長挨拶、歯学科カリキュラム説明会、模範授業、模範実習、学生との対話）の模様を約2時間半に編集してごらんいただきます。

【歯学部口腔保健学科】

場所：2号館2階口腔保健学科第1講義室（0H-1）

口腔保健学科オープンキャンパスは、28日、29日の午後、行います。なお、8月25日にも、口腔保健学科説明会を開催予定です。

7月28日（火）

＜口腔保健学科紹介＞0H-1 13:00～13:30 吉増秀實（口腔保健学科長）

口腔保健学科は平成16年に日本で最初の4年制歯科衛生士教育を行う専門の学科として誕生しました。1年間教養部で学んだ後、専門課程で歯科衛生士教育を中心に、歯学、医学、福祉学、コミュニケーション学などを学びます。卒業時には歯科衛生士国家試験受験資格は全員に、また、口腔保健・福祉コースを選択し履修した人は、社会福祉士国家受験資格も取得できます。口腔保健とはどのような学問か、口腔保健学科ではどのようなことを学ぶのか、歯科衛生士、社会福祉士とはどのような職業か、卒業後はどうなっているのかなどお話しします。

＜模範授業「むし歯を科学する」＞0H-1 13:30～13:50 石川雅章先生（発達口腔保健衛生学分野）

＜模範授業「食べ物のお味がわかるしくみ」＞0H-1 14:00～14:20 杉本久美子先生（口腔保健衛生基礎学分野）

＜模範授業「唾液のはたらき」＞0H-1 14:30～14:50 近藤圭子先生（口腔疾患予防学分野）

＜模範授業「ウェストサイドストーリー～日本人はそんなにカラーオーバー！？～」＞

0H-1 15:00～15:20 小野寺光江先生（地域・福祉口腔保健衛生学分野）

＜在校生、卒業生との対話＞0H-1 15:30～16:00

在校生、卒業生が学生生活を紹介します。また、大学生活や受験勉強などについて質問にお答えします。＜歯学部附属病院見学ツアー＞0H-1 16:00～見学終了後解散 須永昌代先生（口腔疾患予防学分野）、大塚敏未先生（口腔疾患予防学分野） 希望者は0H-1の入口に16:00に集合してください。事前予約の必要はありませんが、先着10名とさせていただきます。

口腔保健学科では、3年生の後期から臨床実習が始まります。指導教員の下、実際に患者さんに保健指導や予防処置を行います。実習病院を、指導教員が案内しますので、ぜひ参加してください。

＜受験相談＞0H-1 16:00～17:00 杉本久美子先生（口腔保健衛生基礎学分野）、石川雅章先生（発達口腔保健衛生学分野）、近藤圭子先生（口腔疾患予防学分野）

口腔保健学科に関心があり、口腔保健学科の受験を希望する受験生に、個別に受験相談を行います。

7月29日（水）

＜口腔保健学科紹介＞0H-1 13:30～13:50 吉増秀實（口腔保健学科長）

＜模範授業「口腔が全身の健康の維持・増進に果たす役割」＞0H-1 14:30～14:20 下山和弘先生（高齢者口腔保健衛生学分野）

＜模範授業「唾液のはたらき」＞0H-1 14:30～14:50 近藤圭子先生（口腔疾患予防学分野）

＜模範授業「口の中の解剖学～歯と神経のはなし」＞0H-1 15:00～15:20 坂本裕次郎先生（顎口腔基礎科学分野）

＜在校生、卒業生との対話＞0H-1 15:30～16:00

＜歯学部附属病院見学ツアー＞0H-1 16:00～見学終了後解散 須永昌代先生（口腔疾患予防学分野）、大塚敏未先生（口腔疾患予防学分野）

＜受験相談＞0H-1 16:00～17:00 杉本久美子先生（口腔保健衛生基礎学分野）、石川雅章先生（発達口腔保健衛生学分野）、近藤圭子先生（口腔疾患予防学分野）

【教養部】

場所：5号館3階-ゼミ

＜東京医科歯科大学教養部の紹介＞

教養部キャンパスってどこにあるの？キャンパスの中はどうなっているの？教養では何を学ぶの？教養ではどんな生活が待っているの？教養部の全貌を、パネルで紹介します。

【生体材料工学研究所】

場所：5号館3階-ゼミ

＜研究紹介＞

生体材料工学研究所は、歯科材料を含む生体材料科学と医用器材の研究に特化した世界的にも類例のない研究所です。「ものづくり先端科学」を基盤として、マテリアル、デバイス、創薬による新規診断・治療技術を確立し、医学と歯学の発展に資することを目的としています。これまでに世界に先駆けて、抗動脈硬化薬アンジニン、抗血栓性ポリマー、超弾性型 Ti-Ni 合金ワイヤー、人工アパタイトなどを開発し、社会に向けて発信するとともに、基礎研究を基盤に医用デバイス、歯科インプラント、医療製品の開発研究をおこなってきました。本パネルでは、各分野の最先端の研究を、デモを交えて紹介する予定です。

【難治疾患研究所】

場所：5号館3階-ゼミ

＜研究紹介＞

難治疾患研究所は、難治疾患の克服を目指して基礎医学・生命科学研究を行う、わが国唯一の国立大学法人附属研究所です。本研究が対象とする難治疾患は、神経変性疾患・自己免疫疾患などのいわゆる難病から、がん・生活習慣病などの治療困難なコモン疾患を含み、各領域で世界トップレベルの研究を展開しています。本研究は、文部科学省より、本年6月25日に「難治疾患共同研究拠点」として認定され、今後、全国さらには世界規模の難治疾患研究を行っています。本パネルでは、21分野のうち午後のサイエンスカフェに参加した16分野の研究を紹介します。

全学企画			教養部	歯学部 研究部	生体材料 工学研究部	最新歯学研究	医学部医学科	医学部保健衛生学科 看護学専攻	医学部保健衛生学科 検査技術学専攻	歯学部歯学科	歯学部口腔保健学科
7月28日(火曜日)	5号館4階特別講堂	5号館3階2ゼミ	5号館2階	5号館3階1ゼミ	5号館3階1ゼミ	5号館3階1ゼミ	医学部総合研究棟1階棟 講義室1,2,実習室、医学部 附属病院院例検診室	3号館2階 スキルスラボ 各10名	医学部総合研究棟 17階、18階 90名	医学部総合研究棟 7階、8階 歯学部特別講堂、歯学部附属病院、 1号館など 定員は最大120名	2号館2階
午前	9:00	9:00 入試関連情報 (入試課長)	9:00 大学DVD(54min.)	女性研究支援室 パネル展示(説明 有り)	パネル展示(説明有り)	最新歯学研究 (15分X12名)	9:30 オリエンテーション (M1)	各20分前に総 合受付前で整 理券配付(先着 10名)	13:00 受付 (HS-N1)	9:00 学部長挨拶 (Q1)	9:30 模擬授業1 (Q1)
	10:00	10:00 医科歯科大学合格 への道(学生)	10:00 大学DVD(54min.)								
	11:00	11:00 学長講演	11:00 大学DVD(54min.)								
	11:00	11:00 学長講演	11:00 大学DVD(54min.)								
お昼休憩											
午後	13:00	13:00 大学DVD(54min.)	13:00 大学DVD(54min.)	女性研究支援室 パネル展示	パネル展示	最新歯学研究 (15分X12名)	18:00 Imperial college(学生) (M1)	13:00 受付 (HS-N1)	13:00 受付 (HS-N1)	歯学部特別講堂、歯学部附属病院、 1号館など 定員は最大120名	13:00 口腔保健学科紹介 (OH-L1)
	14:00	14:00 教養部紹介	14:00 大学DVD(54min.)				19:30 Harvard Medical School(学 生) (M1)	13:30 看護学専攻の紹介 (HS-N1)	13:30 研究科長あいさつ (HS-L1)		
	14:30	14:30 女性研究者支援	14:30 大学DVD(54min.)				14:10 カリキュラム説明 (M1)	13:55 検査技術学専攻概要説明 (HS-N1)	13:55 検査技術学専攻概要説明 (HS-L1)		
	15:00	15:00 入試関連情報 (入試課長)	15:00 大学DVD(54min.)				15:00 模擬授業 (M1)	14:30 実習室実習 ツアー (HS-N2)	14:30 学生との対話 (HS-N3)		
	16:00	16:00 入試関連情報 (入試課長)	16:00 大学DVD(54min.)				16:00 女子学生 (M1)	15:00 実習室実習 ツアー (HS-N2)	15:00 学生との対話 (HS-N3)		
	16:00	16:00 入試関連情報 (入試課長)	16:00 大学DVD(54min.)				16:00 女子学生 (M1)	15:00 実習室実習 ツアー (HS-N2)	15:00 学生との対話 (HS-N3)		

医学部 M1: 医学部総合研究棟 1 期棟2階講義室1 M2: 医学部総合研究棟 1 期棟2階講義室2 M3: 医学部総合研究棟 1 期棟地下1階解剖室 M4: 医学部新棟5階症例検討室 M5: 3号館2階スキルスラボラトリー M6: 医学部総合研究棟 1 期棟3階医学科実習室3-1~10 M7: 医学部総合研究棟 1 期棟4階医学科実習室4-1~12
看護学 HS-N1: 医学部総合研究棟 1 期棟18階講義室1 HS-N2: 医学部総合研究棟 1 期棟17階実習室1 HS-N3: 医学部総合研究棟 1 期棟17階実習室2
検査技術学 HS-L1: 医学部総合研究棟 1 期棟8階講義室2 HS-L2: 医学部総合研究棟 1 期棟8階実習室 HS-L3: 医学部総合研究棟 1 期棟7階実習室
歯学部 D1: 歯科外実務棟4階歯学部特別講堂 D2: 1号館6階実習室
口腔保健学科 OH-L1: 2号館2階

全学企画			教養部	歯学部 研究部	生体材料 工学研究部	最新歯学研究	医学部医学科	医学部保健衛生学科 看護学専攻	医学部保健衛生学科 検査技術学専攻	歯学部歯学科	歯学部口腔保健学科
7月29日(水曜日)	5号館4階特別講堂	5号館3階2ゼミ	5号館2階	5号館3階1ゼミ	5号館3階1ゼミ	5号館3階1ゼミ	医学部総合研究棟1期棟 講義室1,2,実習室、医学部 附属病院院例検診室	3号館2階 スキルスラボ 各10名	医学部総合研究棟 17階、18階 90名	医学部総合研究棟 7階、8階 歯学部特別講堂、歯学部附属病院、 1号館など 定員は最大120名	2号館2階
午前	9:00	9:00 入試関連情報 (入試課長)	9:00 大学DVD(54min.)	女性研究支援室 パネル展示(説明 有り)	パネル展示(説明有り)	最新歯学研究 (15分X12名)	9:30 オリエンテーション (M1)	各20分前に総 合受付前で整 理券配付(先着 10名)	13:00 受付 (HS-N1)	9:00 前日の歯学説明会DVD上映 (Q1)	9:30 模擬授業 (Q1)
	10:00	10:00 医科歯科大学合格 への道(学生)	10:00 大学DVD(54min.)								
	11:00	11:00 学長講演	11:00 大学DVD(54min.)								
	11:00	11:00 学長講演	11:00 大学DVD(54min.)								
お昼休憩											
午後	13:00	13:00 大学DVD(54min.)	13:00 大学DVD(54min.)	女性研究支援室 パネル展示	パネル展示	最新歯学研究 (15分X12名)	18:00 Imperial college(学生) (M1)	13:00 受付 (HS-N1)	13:00 受付 (HS-N1)	歯学部特別講堂、歯学部附属病院、 1号館など 定員は最大120名	13:00 口腔保健学科紹介 (OH-L1)
	14:00	14:00 教養部紹介	14:00 大学DVD(54min.)				19:30 Harvard Medical School(学 生) (M1)	13:30 看護学専攻の紹介 (HS-N1)	13:30 研究科長あいさつ (HS-L1)		
	14:30	14:30 女性研究者支援	14:30 大学DVD(54min.)				14:00 医学部長挨拶 (M1)	13:55 検査技術学専攻概要説明 (HS-N1)	13:55 検査技術学専攻概要説明 (HS-L1)		
	15:00	15:00 入試関連情報 (入試課長)	15:00 大学DVD(54min.)				14:10 カリキュラム説明 (M1)	14:30 実習室実習 ツアー (HS-N2)	14:30 学生との対話 (HS-N3)		
	16:00	16:00 入試関連情報 (入試課長)	16:00 大学DVD(54min.)				15:00 模擬授業 (M1)	15:00 実習室実習 ツアー (HS-N2)	15:00 学生との対話 (HS-N3)		
	16:00	16:00 入試関連情報 (入試課長)	16:00 大学DVD(54min.)				16:00 女子学生 (M1)	15:00 実習室実習 ツアー (HS-N2)	15:00 学生との対話 (HS-N3)		

医学部 M1: 医学部総合研究棟 1 期棟2階講義室1 M2: 医学部総合研究棟 1 期棟2階講義室2 M3: 医学部総合研究棟 1 期棟地下1階解剖室 M4: 医学部新棟5階症例検討室 M5: 3号館2階スキルスラボラトリー M6: 医学部総合研究棟 1 期棟3階医学科実習室3-1~10 M7: 医学部総合研究棟 1 期棟4階医学科実習室4-1~12
看護学 HS-N1: 医学部総合研究棟 1 期棟18階講義室1 HS-N2: 医学部総合研究棟 1 期棟17階実習室1 HS-N3: 医学部総合研究棟 1 期棟17階実習室2
検査技術学 HS-L1: 医学部総合研究棟 1 期棟8階講義室2 HS-L2: 医学部総合研究棟 1 期棟8階実習室 HS-L3: 医学部総合研究棟 1 期棟7階実習室
歯学部 D1: 歯科外実務棟4階歯学部特別講堂 D2: 1号館6階実習室
口腔保健学科 OH-L1: 2号館2階

第4条 被評価者は、教育、研究等の活動状況を各評価領域の評価項目に照らして分析のうえ自己評価書（別紙様式1）を作成し、評価者に提出する。ただし、評価対象年度の1年間の実績だけでは教育、研究等の客観的な活動状況を示すことができない場合は、必要に応じて過去3年度分を通じた活動状況を評価領域ごとに記載のうえ、自己評価書を作成することができる。

2 被評価者は、評価結果に基づき次年度以降の活動の改善を行うこととする。

（評価者の役割）

第5条 評価者は、個人評価を実施し、評価結果を被評価者へ通知する。

2 評価者は、必要に応じて被評価者の活動状況の改善のための指導及び助言を行う。

3 評価者は、部局等における個人評価の結果を総括し学長に報告する。

（個人評価委員会）

第6条 部局等において評価者が行う個人評価を補助する組織（以下「個人評価委員会」という。）を置くことができる。

2 個人評価委員会に関し必要な事項は、部局等において別に定める。

（全学個人評価審査委員会）

第7条 部局等における個人評価結果の検証及び個人評価結果に対する被評価者からの意見の申し立てに対応するため、本学に全学個人評価審査委員会（以下「評価審査委員会」という。）を置く。

2 評価審査委員会は学長および常勤の理事並びに学長が期限を決めて指名する教員により構成する。

3 評価審査委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は委員会を召集し、これを主宰する。

5 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員をもって委員長の職務を代行することができる。

6 評価審査委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席した委員の全一致をもって議決する。

7 委員長は、部局等における個人評価結果を検証し、必要に応じて改善を命じる。

8 委員長は、部局等における個人評価結果の検証業務を補助する教員を期限を決めて指名することができる。

9 委員長は、被評価者から意見の申し立てがあったときは、すみやかに評価審査委員会を開催し、被評価者及び評価者に意見の申し立てに対する審査結果を通知する。

10 評価者は、審査結果をもとに再評価を行ったときは、すみやかに当該被評価者に再評価結果を通知するとともに、その内容を評価審査委員会に報告する。

11 委員長が必要と認めるときは、評価結果審査に関係する評価者、被評価者、又は前8項で指名した教員を出席させ、意見を聴くことができる。

（個人評価の方法）

国立大学法人東京医科歯科大学における教員個人評価に関する規則

平成21年3月31日
規則第22号

（趣旨）

第1条 この規則は、東京医科歯科大学における中期目標、中期計画に基づき、個人の自己点検評価を基本とした個人評価（以下「個人評価」という。）に関し必要な事項を定める。

（個人評価の実施及び目的）

第2条 個人評価は、評価実施年度の前1年度分（以下「評価対象年度」という。）の評価を毎年度実施する。ただし、評価対象年度の1年間の実績では客観的な評価が困難な場合は、評価対象年度を含む過去3年度分（以下「過去年度分」という。）を通じた活動実績を考慮して評価を行うことができる。

2 前項の評価は、教員が東京医科歯科大学の目標、計画を達成するために行う教育、研究、診療、管理・運営、社会貢献に係る諸活動の状況について、自律的な点検、評価を定期的に実施することにより、教員個人、部局等及び本学全体の諸活動の改善、活性化を図ることを目的として実施する。

（被評価者及び評価者）

第3条 個人評価の対象（以下「被評価者」という。）は、教授、准教授、講師（歯学部附属歯科技工士学校の講師を除く。）及び助教とする。（国立大学法人東京医科歯科大学特定有期雇用職員の就業に関する規則（平成20年10月28日規則第50号）に定める者を含む。）ただし、評価対象年度において在職期間が1年未満の者又は勤務期間が6月未満の者を除く。

2 個人評価は、原則として被評価者の所属する大学院医歯学総合研究科、大学院保健衛生学研究科、大学院疾患生命科学研究所、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、医学部附属病院、歯学部附属病院、医学教育システム研究センター、疾患遺伝子実験センター、先端研究支援センター、国際交流センター、保健管理センター及び脳統合機能研究センター（以下「部局等」という。）の長が行う。

ただし、大学院医歯学総合研究科においては、被評価者の所属（医系又は歯系）を判断し、研究科長又は副研究科長が行う。

3 教員数が少ない部局等における個人評価は、当該部局等又は被評価者と密接に関連する他の部局等において実施することができる。

4 部局等の長（以下「評価者」という。）の評価に関し必要な事項は、学長が別に定める。

5 教員が兼務する副学長の評価に関し必要な事項は、学長が別に定める。

（被評価者の役割）

は学長もしくは評価者が指示する目的以外に使用してはならない。

附 則

1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に実施する個人評価においては、第9条第1項中「6月末日」とあるのは「9月末日」と、同条第2項中「9月末日」とあるのは「11月末日」と読み替えるものとする。

- 第8条 個人評価は、被評価者が作成する自己評価書及び諸活動の実績データ（以下「根拠データ」という。）に基づき、別に定める評価基準により行う。
- 2 根拠データの項目、記載方法、自己評価書の提出方法等は、部局等において定める。
- （個人評価の手順）
- 第9条 被評価者は、評価実施年度の6月末日までに、評価対象年度の自己評価書を作成し、根拠データとともに評価者に提出する。
- 2 評価者は、提出された自己評価書及び根拠データに基づいて評価を実施し、9月末日までに評価結果を被評価者に通知する。
- 3 評価者は、前項の評価の実施にあたっては、必要に応じて被評価者から意見を聴取することができる。
- 4 評価者は、個人評価の結果を部局等個人評価報告書（別紙様式2）として取りまとめ、学長に報告する。
- 5 被評価者は、評価結果の通知の日の翌日から起算して10日以内（国立大学法人東京医科歯科大学職員の労働時間、休憩等に関する規則（平成16年規則第43号）で定める休日を除く。）に評価審査委員会に対し意見の申し立てを行うことができる。
- 6 学長は、評価者から報告された個人評価結果を検証し、教育研究評議会に報告する。
- 7 学長は、必要に応じて評価者または被評価者から評価結果について意見を聴くことができる。
- 8 学長は、前2項に関する業務または補助業務を評価審査委員会の構成員に指示することができ、
- （情報データベース）
- 第10条 個人評価の実施にあたって、根拠データとして東京医科歯科大学研究情報データベースを利用できるものとする。
- （評価結果の利用）
- 第11条 学長及び評価者は、高い評価を受けた個人に対し、その活動の一層の向上を促すために適切な措置を行う。
- 2 学長及び評価者は、活動状況が十分でないと評価された被評価者に対し、その原因を調査するとともに、活動状況の改善について適切な指導及び助言を行う。
- 3 学長及び評価者は、毎年、個人評価の結果を分析し、本学または部局等における人事の適正化に活用するとともに、給与等の処遇へ反映させるなど適切な措置を行う。
- （評価結果の公表）
- 第12条 個人に係る評価結果については、本人以外にはこれを公表しない。ただし、評価結果を集計し取りまとめたデータについては、内容を精査のうえ学長または部局等によって公表することができる。

第13条 個人評価に関わる者は、評価に関して知り得た情報について、他人に漏洩し、又

自己評価書

氏名: _____

職名: _____

所属部局: _____

自己評価点: _____

※部局等による評価点: _____

評価領域	評価項目に関する教育研究活動等の概要	ウエイト (A)	自己評価点 (B)	※部局等による評価点 (C)	※領域評価点 (A) × (C)
教育					
研究					
診療					

管理・運営					
社会貢献					
領域評価点計					

※総合評価

記入枠の行数は適宜変更してください。
※印は部局等で記入します。

書告價評人等局部

部局等名: _____
評価者所屬・職名・氏名 _____

[illegible]

別紙様式(第4条関係)

国立大学法人東京医科歯科大学特別教授選考規則

〔平成20年12月17日
規則第57号〕

(趣旨)

第1条 国立大学法人東京医科歯科大学(以下「本学」という。))にとって必要な人材を確保し、活躍の機会を与えるために、本学の准教授若しくは講師に国立大学法人東京医科歯科大学特別教授の名称を付与することとし、選考については、この規則の定めるところによる。

(選考の基準)

第2条 特別教授の名称を付与できる者は、教育、研究、診療の3領域のいずれか1領域以上で卓越した業績を挙げ、本学の教授にふさわしい人格、見識を備えた者とする。

(選考の方法)

第3条 特別教授の選考は、当該教授会の議に基づき、学長が行う。
2 大学の運営上学長が特に必要と認める場合における特別教授の選考は、前項の規定にかかわらず、学長が行う。

(呼称)

第4条 特別教授として選考された者は、それぞれの該当領域に応じて、特別教育教授、特別研究教授又は特別診療教授と称することができる。

(付与期間)

第5条 特別教授の名称を付与する期間は、5年以内とし、更新することを妨げない。

(文書による明示)

第6条 特別教授を称せしめる場合には、別紙様式の文書にその旨を明記して本人に了解させるものとする。

(付与の取消)

第7条 称号を付与された者が、第2条の基準を満たさなくなった場合には、付与を取消すものとする。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、平成21年1月1日から施行する。



(氏名)

国立大学法人東京医科歯科大学特別〇〇教授の名称を付与する

付与の期間は平成 年 月 日までとする

平成 年 月 日

国立大学法人東京医科歯科大学長

平成 20・21 年度就職支援イベント実施一覧

(出典：評価情報室作成)

年度	イベント名	対象	概略
H20	合同就職説明会 (病院看護職)	看護学専攻 4 年	各病院から病院概要についての説明
	就職ガイダンス-1-	大学院生・学部学生	就職活動の概要、スケジュール、筆記試験について等・公務員の採用試験について
	接遇研修	検査技術学専攻 3 年	病院や企業における内定獲得のポイント
	就職ガイダンス-2-	大学院生・学部学生	就職活動の概要、スケジュール、筆記試験について
	模擬面接講座-1-	大学院生・学部学生	模擬面接講座（業界分析、エントリーシート/履歴書対策）
	合同企業説明会-1-	大学院生	製薬メーカーを中心としつつも、幅広い企業による講演
	合同企業説明会-2-	大学院生・学部学生	化学・食品・医療機器・情報系等
	進路ガイダンス	検査技術学専攻 3 年	進路概況、活動の概略、先輩からのアドバイスなど
	就職支援セミナー	口腔保健学科 3 年	面接対策：病院や企業面接のポイント
H21	就職ガイダンス	検査技術学専攻 4 年	先輩、病院・企業担当者の講演
	進路説明会	看護学専攻 4 年	進路説明会（看護学攻）
	合同就職説明会 (病院看護職)	看護学専攻 4 年	各病院から病院概要についての説明
	就職ガイダンス-1-	大学院生・学部学生	就職活動の概要・スケジュール・筆記試験について等・公務員の採用試験について
	接遇研修	検査技術学専攻 3 年	病院や企業における内定獲得のポイント
	就職ガイダンス-2-	大学院生・学部学生	就職活動の概要、スケジュール、筆記試験について
	模擬面接講座-1-	大学院生・学部学生	エントリーシート・面接対策について
	接遇研修	看護学専攻 2 年	患者への対応やマナー研修
	合同企業説明会-1-	大学院生・学部学生	製薬メーカーを中心に幅広い企業に講演予定
	模擬面接講座-2-	大学院生・学部学生	業界分析・履歴書対策
	合同企業説明会-2-	大学院生・学部学生	化学・食品・医療機器・情報系などを予定
	進路ガイダンス	検査技術学専攻 3 年	進路概況、活動の概略、先輩からのアドバイス
	合同企業説明会-3-	学部学生	学部学生を対象とした合同企業説明会
	就職支援セミナー	口腔保健学科 3 年	面接対策：病院や企業面接のポイント

定 員

常時保育： 27名（0歳児：9名 1歳児：9名 2歳児：6名 3歳児以上：3名）
一時保育： 定員に空きがある場合（初年度の実施は未定）
* 常時保育とは…週5日間（月～金曜日）の定期的な利用
一時保育とは…一時的に日時を指定しての利用

- 年齢はその年の4月1日現在のものです。
- 本学の保育施設は厚生労働省の助成金を受給する予定です。助成金受給の都合上、学生の利用は定員（現員）の半数以下となります。

保育時間

基本保育時間： 7時30分～18時00分
延長保育時間： 7時00分～ 7時30分 18時00分～20時00分
一時保育時間： 原則として基本保育時間内

休 園 日

土・日曜日、 祝祭日、 年末年始（12月29日～1月3日）

利用対象者

本学教職員および学生（学部学生、大学院生）

- 常時保育を希望する場合
 - ① 養育者が就業または学業のために日中常態として家庭での保育ができないこと
 - ② 居住地の認可・認証保育園を申し込んでいること

対象児

- 生後57日以降、就学前まで
- 集団保育において心身に問題がないもの

保 育 料

月極基本保育料： 月額7万円程度を予定
延長保育料： 未定
一時保育料： 未定
○ 月極保育の利用者が複数の子供について同時に利用する場合は、2人目以降の子供の保育料を半額とします。

◇◇ 学内保育施設説明会 ◇◇
On-Campus Nursery Information Session

平成21年12月24日（木）午前10時30分と午後5時30分から学内保育施設の説明会を開催いたしました。

当日は60人弱の方にご参加いただき、いろいろ参考となるご質問・ご意見を多数いただきました。現在の段階では未定の部分もたくさんありますので、いただいたご質問等を積極的に取り込んで整備していきたいと考えております。

そのため、下記に掲載いたします説明会の資料のとおりとならないこともあるかと思いますが、情報は本学 HP に逐次掲載していきますのでぜひチェックしていただきますようよろしくお願いいたします。

On-Campus Nursery Information Session was held on December 24, 2009, and about 60 people participated in it. We got a lot of questions and useful feedbacks and would like to reflect them to the Nursery. Therefore the following handout for Information Session is subject to change. So, please check the TMDU Home Page for information and updates.

.....

東京医科歯科大学 学内保育施設のご案内

目 的

教職員および学生の仕事や学業と子育ての両立支援、ならびにワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に資することを目的とします。

保育施設の概要

場 所： 湯島地区 6号館1階
施設概要： 鉄筋コンクリート造・耐火構造 床面積 208㎡
運営体制： 保育業者へ業務委託

選考（常時保育）

- 居住地の認可・認証保育園に入園できなかった方、入園が困難な方を優先
- 選考は毎年行います。

募集日程（常時保育）

- 平成22年度 4月入園希望者 申込開始日：未定
申込締め切り日：3月上旬
- 5月以降の入園希望者の募集については未定

情報提供

- 申込書の配布や申込開始時期等、現在未定である事項を以下の方法でお知らせいたします。
- 本学HPに学外からもアクセスできるサイトを開設する予定ですが、現在準備中のため、当面は『NEWS&TOPICS』をご参照下さい。

担当

総務部職員課 石田（内線4654）
E-mail：hoiku.adm@omn.tmd.ac.jp

TMDU On-Campus Nursery

Aim:

The TMDU On-Campus Nursery aims to help staff members and students who are managing both parental duties and work/study responsibilities to achieve “work-life balance”.

Location & Facilities:

Location: Yushima Campus, Bldg No. 6, 1st floor
Building type: Reinforced concrete, fireproof
Facility floor space: 208 m²
Facility management: Independently contracted nursery organization

Number of children to be admitted (Quota by age range):

Regular users (Regular users are those who use the facility 5 days a week (Monday ~ Friday))
Maximum capacity: 27 children
Allocation: Under 1 year old: 9; 1~2 years old: 9; 2~3 years old: 6; 3 years and up: 3)

Day-by-day users (Day-by-day users can use the facility when capacity is available.

But, this project in the first year (FY2010) is not yet concrete.)

Notes:

1. Age is measured as of 1st April of the current year.
2. The TMDU On-Campus Nursery receives a subsidy from the Ministry of Health, Labor and Welfare. Due to eligibility constraints of this assistance program, students may use only up to one-half of the allotted quota (the number is based on the actual number of children attending the nursery).

Hours of operation:

Basic hours of operation: 7:30 a.m. ~ 6:00 p.m.

Extended hours of operation: 7:00 a.m. ~ 7:30 a.m. & 6:00 p.m. ~ 8:00 p.m.

Hours of operation for day-by-day users: In principle, within the “Basic hours of operation”

Days Closed:

The nursery is closed on Saturdays, Sundays, national holidays, and over New Year's holiday.
(29 December – 3 January)

Users & eligibility:

Users: Staff members and students (both undergraduate and post graduate in principle) of TMDU

Eligibility:

Children can be admitted to the day nursery if;

- * Both parents have a full time job or they are studying during the day and therefore unable to look after their children by themselves;
- * The family is unable to use a recognized nursery near their place of residence.

Eligible Children:

The day nursery will be able to care of children who are at least 57 days old until elementary school age.

Children must be of sound mind and body so as to get along with the other children in the nursery.

Fees:

Basic monthly fee:	Approximately ¥70,000
Extended hours fee:	To be announced
Temporary hours fee:	To be announced

When a regular user is permitted to send two or more children, the fee for the second and any additional child will be charged at the rate of one-half of the basic fee.

Criteria for selection (Regular Users):

1. TMDU will give priority to those who are not able to send their children to a recognized nursery in their neighborhood, or who would have much difficulty using another nursery.
2. Selection is done annually.

Schedule of selection (Regular Users):

Recruitment for admission in April 2010 & Application process: To be announced
Deadline for submission of the application form: To be announced (likely -- early March, 2010)
Recruitment for admission in May or thereafter: To be announced

Provision of Information:

TMDU will announce the commencement of the application period, as well as provide for the distribution of application forms and other information, via the On-Campus Nursery website.

Note: For now, please check the “NEWS & TOPICS” area of the TMDU Home Page for information and updates. We are now constructing a dedicated website for the On-Campus Nursery which will be accessible from outside TMDU.

Person in charge:

Ms. Ishida, Staff Section, General Affairs Division (Ext. 4654)
E-mail: hoiku.adm@cmn.tmd.ac.jp

国立大学法人東京医科歯科大学産学官連携活動に携わる職員等の

利益相反マネージメント実施要領

平成21年1月14日
制 定

(目的)

1. この要領は、国立大学法人東京医科歯科大学利益相反マネージメント規則（平成19年11月1日、規則11号、以下「規則」という。）第30条に基づき、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）の職員等が産学連携活動その他の社会貢献活動（以下「産学連携活動等」という。）を行う上での利益相反を適正に管理するため必要な事項を定めることにより、本学の教育研究及び社会貢献活動の推進を図ることを目的とする。

(定義)

2. この要領における用語の定義は、次に定めるところによる。
(1) 「職員等」とは、本学の役員（非常勤の者を除く。）及び職員並びに規則第4条及び第11条に規定する各委員会が指定する者をいう。
(2) 「利益相反マネージメント」とは、本学の職員等が教育研究及び社会貢献活動を行う上で、その活動や成果に基づき得る個人的利益が職員等としての責務又は公共の利益を損なわないよう適正に管理することをいう。

(利益相反マネージメントの対象)

3. 利益相反マネージメントは、職員等が、特定の企業、国又は行政機関、その他の団体（以下「企業等」という。）と産学連携活動等を行う場合であって、次に掲げる行為を行う場合を対象としてこれを行う。
(1) 企業等から一定額以上の金銭若しくは便宜の提供又は株式等経済的利益を得る場合
(2) 企業等から一定額以上の物品、サービス等を購入する場合
(3) 本学の学生等を企業等に従事させる場合

(マネージメントの概要)

4. 本学の利益相反マネージメント委員会（以下「委員会」という。）は、産学連携活動等に携わる本学の職員等に対し、以下の利益相反マネージメントを行うものとする。
(1) 産学連携活動等に携わる職員等は、利益相反自己申告書（利益相反定期自己申告書及び利益相反自己申告書をいう。以下「申告書」という。）を事務担当窓口（学術国際部学術連携・国際課をいう。）に提出するものとする。
(2) 前号の申告書の提出があったときは、委員会は提出された申告書が「申告の対象」に該当しているか否かを確認し、「該当なし」の場合にあっては、申告者に対し受付日、

受付番号、委員会の確認印（別紙）を付した申告書の写しを渡すものとする。

(3) 申告の対象に該当しない職員等が、産学連携活動等の実施に関して必要な申請をするときは、申請書類とともに当該申告書の写しを添えて、申請部署へ提出するものとする。

(4) 職員等から提出された申告書が申告対象の該当項目に「該当あり」の場合にあっては、提出があった申告書に基づき、委員会は申告書の内容の確認、調査、検討を行い、調査・検討の結果、必要と認めるときは、当該利益相反を許可することの可否及び当該利益相反による弊害を回避するための必要な措置等について審議する。

(5) 委員会の委員長は、前号による審議を行った場合には、当該職員等に対し、審議結果通知書（別紙様式）により通知する。

(6) 委員会は、前号の審議の結果に基づき、当該利益相反による弊害を回避するために必要な措置を行う。

(7) 委員会は、前号の措置を受けた職員等について、その後の状況を観察する。

(8) 利益相反による弊害を回避するために、職員等から申告書提出時又はその他の機会において、利益相反アドバイザーへの質問又は相談の申し出があった場合は、利益相反アドバイザーは、必要な助言又は指導を行うこととする。

(9) 第5号による審議の結果については、職員等から異議申し立てを受けたときは、委員長は速やかに再審議を行うこととする。

(10) 各学部及び各研究所（以下「各部局」という。）の臨床研究利益相反委員会から臨床研究に携わる職員等の利益相反に係る重要事項に関し、委員会の開催を求められたときは、速やかに委員長は委員会を開催することとする。

(11) 兼業審査会又は兼業審査委員会から職員等の利益相反に係る重要事項に関し、委員会の開催を求められたときは、速やかに委員長は委員会を開催することとする。

(手続等)

5. 申告書の記入要領及び利益相反アドバイザーへの質問又は相談に関する手続きは、以下によるものとする。

(1) 職員等は、申告書の提出にあたっては、別に定める国立大学法人東京医科歯科大学産学官連携活動に携わる職員等の利益相反自己申告書記入要領により申告する。

(2) 職員等は、4の(8)による申告書提出時又はその他の機会において、利益相反アドバイザーへの質問又は相談を求める場合は、事務担当窓口に事前に申し出るものとする。

(その他)

6. その他利益相反マネージメントに関し、必要な事項は、委員会が定めるものとする。

附 則

この要領は、平成21年1月14日から実施する。

別紙

申告対象項目についての「該当なし」委員会確認印



附 則（平成21年4月1日制定）
この要領は、平成21年4月1日から実施する。

別紙様式

利益相反マネージメント委員会決定通知書

平成 年 月 日

申告者

所属

職名

氏名

殿

利益相反マネージメント委員会
委員長 印

平成 年 月 日付けで申告のあった内容に関し、利益相反マネージメント委員会は下記のとおり決定したので通知します。

記

申告者に係る利益相反の概要	
当該利益相反を許容することの可否	☐ 承認 ☐ 修正要求 ☐ 承認することが適当でない
当該利益相反状況をより良いものとするための措置	

なお、今回の決定に不服がある場合においては、異議申し立ては、通知を受けた翌日から起算して30日以内に申し出てください。（本学利益相反マネージメント規則第23条第5項）

国立大学法人等の改革推進状況(概要)に取り上げられた本学の特色ある取り組み事項について
--

年次評価

平成16年度、平成17年度(該当なし)

平成18年度

- 全学的視点から戦略的な学内資源配分として、学長裁量経費、人員枠及び共用スペースを確保し、学長裁量経費は疾患モデル研究センターの整備、生命倫理センター、オンラインジャーナルの充実等に重点的に配分し、人員枠については、医学部附属病院における救命救急センター及び手術部門の強化を図るため 11 名を、新たな研究戦略を開発するため教員1名を重点配分している。【法人内資源配分の実現】
- 大会議室に PC システムを導入し、事務協議会、教授会及び病院運営会議等の会議資料のペーパーレス化を実施したほか、イントラネット版グループウェアを活用し、事務の合理化・効率化を図るとともに、人事システムと給与システムを統合し、データを一元管理している。【業務運営の効率化および合理化】
- 国際共同治験の実施体制を整備し誘致することを目指して、関東地区の国立大学病院が「大学病院臨床試験アライアンス」を組織して活動を開始している。【附属病院機能の充実・強化】(筑波大学、群馬大学、千葉大学、東京大学、新潟大学と併記)
- 移植医療、再生医療及び遺伝子治療等の先端的な医療の推進や、救命救急センターの整備による三次救急への積極的な対応等、高度医療の提供に努めている。【附属病院機能の充実・強化】(京都大学、大阪大学、筑波大学と併記)

平成19年度

- 隔月ごとに役員会に平成18年度同月のデータを比較材料とした貸借対照表及び損益計算書、附属病院収入に係る各種データを提出し、必要に応じ担当部署による実態調査を行うとともに、これらの情報を中間決算書を分析するための指標とし、経営協議会及び役員会により予算執行状況の中間的な評価を行い、効果的な配分を行っている。【財務内容の改善・充実】
- 救急搬送患者が口腔裂傷している場合に歯科病院からの応援を得ることや、院内患者の口腔ケアの実践等、医科と歯科の機能的連携を推進し、医療の高度化を図っている。【附属病院機能の充実・強化】(新潟大学と併記)

平成20年度

- 「歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点」として、国際的に活躍する研究者をチューターとして招へいしたほか、国際シンポジウム、国際ディベート・リトリート等を実施し、国際的な研究拠点形成及び若手研究者の育成等の取組を推進している。【社会連携・地域貢献・国際交流等の推進】

中期目標期間評価(暫定評価)

- COE「歯と骨の分子破壊と再構築のフロンティア」における、硬組織疾患のゲノム医学に基づく先端的研究を推進し、テーラーメイド医療実践を目指した新しい疾患の診断、治療、予防法の開発を目的とする硬組織疾患研究プロジェクト等による硬組織ゲノムセンターの設置や、COE「脳の機能統合とその失調」においても国際シンポジウムや研究者の国際交流が積極的に行われているなど、世界的研究拠点として機能している。【研究活動の推進】

改革推進関連項目と他大学における特徴的な取り組みについて (主な例)

1. 教育(学生支援を含む)

- ① 全学科・研究科を横断する自習室の整備
 - ② 図書館の地域住民等への開放を含めた土日開館とセキュリティ確保
 - ③ 留年生、国試浪人生に対する学習支援の強化
 - ④ 国際水準の担保とダブルディグリーの推進
 - ⑤ 大学院生を対象にした就職支援室の設置
 - ⑥ 卒業生ネットワークとしての横断的同窓会組織の充実
 - ⑦ 自校教育、倫理教育、薬物教育、禁煙教育等の実施
- 《他学における特徴的な取り組み》

- 新学務情報システムの本格稼働を開始し、ウェブサイトで、履修登録、成績確認の他、単位修得情報、卒業・進級判定情報、カリキュラム、シラバス、学務情報（休講、呼び出し、連絡）等を学生の登録メールアドレスに配信している。【H20 年度、静岡大学】
- 就職支援のさらなる強化を図るため、学生支援センター就職専門部会を拡充整備し、既卒者を含む学生の進路指導及び就職支援について、総合的に企画、立案、実施する「キャリアサポートディビジョン」を設置している。【H20 年度、京都工芸繊維大学】
- 新入生の進路・職業選択に関する意識調査、卒業・修了予定者の進路選択・就職内定状況等に関する実態調査を実施し、その分析結果を平成 19 年度に実施したアンケート分析結果と併せて、総合的・体系的なキャリア支援策の企画・運営に反映させている。【H20 年度、広島大学】
- 教授方法改善に資するため、教職員のみではなく学生の視点からの教育改善を提起するシステムを構築し、学生の企画により他大学の教育システムを学生が調査・分析し、学生と教職員の懇談会で報告する取組が行われている。【H19 年度、鳥取大学】
- インターネット上において、卒業生と在学学生との情報交流の拡大と促進、卒業生から在校生に対する就職活動支援等を目的として、学生及び卒業生並びに教職員間のコミュニケーションツール「Curio」を導入している。【H19 年度、千葉大学】
- 入学当初の学生に対し、社会が必要とする人材像や働くことの意義、職場の実情等について学ばせ、その過程で、大学で学ぶことへの動機付けを行うことを目的とする講義として「キャリアデザインA」を新設している。【H17 年度、電気通信大学】
- 就職相談室を設置し、企業の元人事担当者をキャリアアドバイザーとして配置しているほか、学生と企業の情報交換会を開催。【H16 年度、京都工芸繊維大学他】

2. 研究

- ① 学長裁量人員枠・経費によるプロジェクト研究等の拡大
- ② 特定の疾患領域に関する基礎・臨床一体型研究センターの設置
- ③ 優秀な若手研究者・女性研究者の顕彰

《他学における特徴的な取り組み》

- 社会的要請の強い分野の研究及び大学の特色を生かした文理融合的研究の推進を可能にし、自主的な研究活動の強化及び新しい教育研究分野の発展に資することを目的とし、これまでのプロジェクト研究における研究成果を基盤として、4つのプロジェクト研究所を設置している。【H20 年度、福島大学】
- 若手教員（40 歳以下）支援のため一般の研究プロジェクトとは別枠で学内公募を行い、学長等によるピアリングにより優れた研究に経費を配分している。【H20 年度、浜松医科大学】
- 「女性キャリア支援・開発センター」を発足させ、女性キャリア支援のための特任教員を4名採用し、主として女性の卒業生・修了生の社会参画・社会貢献に資するため、研究生及び科目等履修生として再教育を受ける際の入学料の免除、授業料の半額化を実施するための規程改正を行っている。【H18 年度、東京農工大学】
- 高度な研究機器・装置について、創成科学研究棟オープンファシリティとして学内外の教員が利用できるシステムを整備するとともに、ウェブサイトから利用予約ができるようにし、有効活用を図っている。【H17 年度、北海道大学】
- 研究者を目指す優秀な女子学生育成のために新たに「大塚賞」（対象者 10 名）を新設し、毎年総額 500 万円の奨励金を授与している。【H17 年度、北海道大学】

3. 診療・病院管理

- ① 特定疾患診療センター、先端医療センター等の設置

《他学における特徴的な取り組み》

- 医師減少の著しい小児科、産婦人科、救急医学、外科の医師養成のために、3年間の学費免除等を盛り込んだ、学部教育から卒業研修・専門医研修まで一貫した医師養成コースを新設している。【H20 年度、山形大学】
- 全国の大学病院としては初めて、医員及び研修医に対して年俸制を導入し、常勤化と医員のパート勤務を実現するなど処遇改善を図っている。【H20 年度、島根大学】

4. 管理・組織運営

- ① 中期目標・中期計画に関する短縮版パンフレットの作成
- ② 危機管理マニュアル短縮版・英語版の作成、避難訓練の定期的な実施
- ③ ペーパーレス会議の推進

《他学における特徴的な取り組み》

- 各部署の枠を超えた全学的な視点から教育研究の一層の充実発展を図るため、学内公募プロジェクト、学長発信プロジェクト及び学長プロジェクトの3つの制度を構築し、各プロジェクトの特色に応じた戦略的

- な配分を行っている。【H20 年度、東京芸術大学】
- 教育研究評議会、役員会及び事務連絡会においてパソコンを活用したペーパーレス会議を実施するなど、各会議において議事運営の円滑化を図っている。【H20 年度、北陸先端科学技術大学院大学】
- 国立天文台では、「天文学振興基金」を設立し、ウェブサイトからの寄附の申し込みや、クレジットカードでの寄附も可能とするなどの寄附金の受入れ体制の整備を進めている(231 件、約 1,009 万円)。また、外国の大学との研究協力を前提に複数年にわたり多額の寄附金を受け入れる協定の締結等により、前年度に比べ約2億 9,700 万円増の寄附金を受け入れている。【H20 年度、自然科学研究機構】
- ペーパーレス会議によるゴミ減量の取組、プラスチックゴミの燃料化等を図った結果、名古屋市の「第2回エコ事業所特別賞」を受賞している。【H20 年度、名古屋工業大学】
- 業務改善を継続的に推進する「業務改善等推進室」を設置し、47 の改善事項を策定し、改善に取り組んでいる。【H19 年度、山形大学】
- コンサルティング会社による分析手法を基に独自に事務局各課及び各学部事務の所掌業務内容等を選定の上、コスト分析が行われている。【H19 年度、宮崎大学】
- 目標チャレンジ活動による経費節減に積極的に取り組み、電気料で 473 万円(対前年度比 7.2%減)、定期刊行物購入費で 253 万円(対前年度比 23.5%減)、清掃費で 369 万円(対前年度比 9.9%減)等、一般管理費全体で 9,437 万円(対前年度比 7.1%減)の経費削減に努めている。【H19 年度、三重大学】
- コスト削減に関してインセンティブを付与する仕組みを稼働させ、環境意識の向上とともにコスト意識を醸成・向上させるため、光熱水料の部局別比較をウェブサイト上で公表するなどの取組により、一般管理費比率は 4.3%(対前年度比 0.3%減)となっている。【H19 年度、和歌山大学】
- 外国人留学生・研究者の比率が高いことを考慮し、災害・事件・事故等に対応するための「危機管理マニュアル」の英語版を作成し、学内ウェブサイトで全学に周知している。【H19 年度、北陸先端科学技術大学院大学】
- 一部消耗品について、低廉な価格で調達が可能でウェブサイトによる発注を教職員に推奨することで、コスト意識の醸成が図られている。また、ネット市場において流通度の高い商品については、同市場における取引価格帯を調達価格決定の指標とする手法が導入されている。【H18 年度、和歌山大学】
- 学生、教職員による全学的な防災訓練を実施している。聴覚に障害のある学生については、避難訓練時の避難通報手段として、学外機関と連携し、携帯電話のメールを利用した通報テストを行うとともに、アンケート調査を実施するなど避難通報の在り方の検討を行っている。視覚に障害のある学生については、学生寄宿舎での避難訓練を実施している。【H18 年度、筑波技術大学】
- 安全衛生・危機管理マニュアルをA4版1枚に整理し、常時携帯できる「クイック版」を作成し学生及び教職員に配布し、危機管理への速やかな対応を可能にしている。【H17 年度、福岡教育大学】
- 事件・事故等に速やかに対応し、起こり得る混乱を未然に回避する総合窓口として「リスク管理室」を設置し、一元的なリスク管理体制を整備している。【H17 年度、名古屋大学】

5. 社会貢献

- ① 大学の歴史、教育・研究成果、重点的取組事項等の一般公開施設の設置
- ② 大学の特色を活かした地域との連携

《他学における特徴的な取り組み》

- 大学の講義等の情報をインターネットを通じ無償で公開する活動(オープンコースウェア)の充実を図り、150 以上の講義ノートと 360 の映像コンテンツを公開し、アクセス数は 200 万アクセスを超えている。【H20 年度、京都大学】
- アジア・アフリカ言語文化研究所では、広報誌「Field+」の対象を広く一般まで拡大するなど、フィールドサイエンスの拠点としての研究活動の広報に重点を置いた内容に刷新している。【H20 年度、東京外国語大学】
- 北海道大学の教育・研究成果を蓄積・公開する「北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)」の充実により、平成 19 年度の収録文献数が 10,031 件(平成 18 年度:9,311 件)、累積で 23,171 件(平成 18 年度:13,140 件)に達し、同種のコレクションの中では世界で 20 番目、国内では最大規模となっている。【H19 年度、北海道大学】
- 大学教員が講師となって全国の高等学校を訪問し地球環境問題に関する講義を行う「北海道大学プロフェッサー・ビジット 2007」を実施し、全国 28 校を訪問し 7,540 名が講義に参加し、北海道大学の地球環境問題に対する取組を全国の高校生に向けて発信している。【H19 年度、北海道大学】
- 社会連携活動の総合窓口として「社会連携センター」を整備し、体制を強化し、「上野タウンアートミュージアム」、「取手アートプロジェクト」といった自治体との社会連携事業に積極的に取り組んでいる。【H19 年度、東京芸術大学】
- 広報戦略室に外部の専門家を広報アドバイザーとして委嘱し、大学広報の効果的活用に向けた取組が行われている。【H18 年度、一橋大学】

平成20・21年度連続公開講座一覧

(出典：評価情報室作成)

実施主体	年度	講座、講演会名	実施日等
大学公開講座 ※1	H21	健康を創る (V) － 新しい治療法を知ろう －	平成21年10月7日～平成21年11月11日の毎週水曜日 18時00分～19時40分 第1回：「歯が抜けてしまった、どんな治療があるの？」 第2回：「更年期からのヘルスケア」 第3回：「むし歯を治す～最新のキーワードは接着～」 第4回：「脳卒中にならないようにするにはどうする？なっ たらどうする？」 第5回：「光エネルギーを用いた歯周病の新しい治療 －レーザー治療」 第6回：「慢性腎臓病－古くて新しい腎臓の病気」
	H20	健康を創る (IV) － 病気を知ろう －	平成20年10月7日～平成20年10月21日の毎週土曜日 13時30分～15時10分、15時30分～17時10分の1日2コマ 第1回：「むくみをひきおこすいろいろな病気」 第2回：「睡眠時無呼吸症候群の病態と診断、および治療」 第3回：「胃腸の癌」 第4回：「早期発見と治療」 第5回：「きれいな歯いつまでも」 第6回：「うつ病が増えている」
大学院保健衛生 学研究科生体検 査科学専攻公開 講座※1	H21	健康寿命の自己管理：健康チェック	平成21年10月31日（土）10時～16時45分 平成21年11月1日（日）10時～16時45分 〔（午前）講義：意識障害と認知症、自律神経と血圧〕 〔（午後）実習：試してみよう健康チェック〕 ※両日同じ内容
		少し先、ずっと先の健康：招く健康 チェック	平成20年10月25日（土）10時～16時45分 平成20年10月26日（日）10時～16時45分 〔（午前）講義：不整脈の病態と治療、高齢者のうつ〕 〔（午後）実習：試してみよう健康チェック〕 ※両日同じ内容
教養部公開講座 ※1	H21	〔スポーツ公開講座〕 みんなと泳ごうジュニア水泳教室	平成21年8月17日（月）～平成21年8月20日（木）の4日間 〔Aコース：9時～12時、Bコース13時15分～16時15分〕
		〔スポーツ公開講座〕 トップ選手から学ぶ 実戦！！ソフ トテニス教室	平成21年8月24日（月）～平成21年8月27日（木）の4日間 〔①：9時～16時、②9時～12時、③13時～16時〕
		〔子ども自然科学公開講座〕 「なぜ？」から始める理科の自由研究	平成21年8月24日（月）、平成21年8月25日（火）の2日間 〔10時～16時〕
	H20	〔スポーツ公開講座〕 みんなと泳ごうジュニア水泳教室	平成20年8月19日（火）～平成20年8月22日（金）の4日間 〔Aコース：9時～12時、Bコース13時15分～16時15分〕
		〔スポーツ公開講座〕 トップ選手から学ぶ 実戦！！ソフ トテニス教室	平成20年8月27日（月）～平成20年8月30日（木）の4日間 〔①：9時～16時、②9時～12時、③13時～16時〕
		〔子ども自然科学公開講座〕 「なぜ？」から始める理科の自由研究	平成20年8月4日（月）、平成20年8月5日（火）の2日間 〔10時～16時〕

実施主体	年度	講座、講演会名	実施日等
知的財産本部に おける講演会 ※2	H21	国際技術ライセンス・共同研究契約を めぐるトレードシークレット紛争回 避の対策	平成21年11月26日（木）18時～19時50分
		米国特許訴訟の損害補償と特許法改 革	平成21年12月14日（月）19時～20時30分
		日米比較と今後の展開	平成22年1月27日（水）14時～17時30分
		医学系大学産学連携ネットワークシ ンポジウム	平成22年3月24日（水）13時30分～17時15分
		不公正行為（Inequitable）の最新判 例動向 ～医薬・バイオ分野特許が問題となる 事例中心に～	平成21年6月26日（火）14時～16時
	H20	アメリカにおける医薬品開発とバイ オベンチャーの役割	平成21年3月3日（火）18時から19時30分
		米国における最近の特許事情	平成20年12月10日（水）17時～21時30分
		わが国の知的財産戦略を考える～グ ローバリゼーションの今～	平成20年8月22日（金）13時～17時
		MedImmune 最高裁判決以降の新薬・ ジェネリック薬特許紛争戦略	平成20年5月19日（月）18時～19時30分
学際生命科学東 京コンソーシア ムに係る講演会 ※3	H21	病気に挑む生命科学	平成21年6月2日（火）10時～12時
		進化するいのちの科学	平成21年9月26日（土）14時～17時20分
四大学連合に係 る講演会	H21	環境・社会・人間における「安全・安 心」を探る ー安全で安心のできる社会ー	平成21年10月9日（金）13時～16時30分
	H20	環境・社会・人間における「安全・安 心」を探る ー安全で安心のできる社会ー	平成20年11月27日（木）13時～16時20分
保健衛生学研究 科において本郷 小学校、湯島小学 校と連携して行 う公開講座 ※4	H21	医療に役立つロボット	平成22年2月3日（水）、2月17日（水）、2月23日（火） 〔9時30分～11時45分〕
	H20	医療に役立つロボット	平成21年2月6日（金）、2月13日（金）、2月20日（金） 〔9時30分～11時45分〕

※1 [URL] <http://www.tmd.ac.jp/outline/open-lecture/index.html>

※2 [URL] http://www.tmd.ac.jp/tlo/in_past.html

※3 [URL] http://www.tmd.ac.jp/cmn/nyushi/daigakuin_HP/pdf/seimei_tokyo.pdf

※4 [URL] <http://www.tmd.ac.jp/med/mtec/wakamatsu/staff/16honma.pdf>

第8回駿河台国際シンポジウム開催のお知らせ

下記の要領で第8回駿河台国際シンポジウムを開催致します。今回は、東京医科歯科大学が主催する国際サマープログラム 2009「Recent Advances in Cancer Research」との合同企画です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

Wednesday, September 9: International Symposium

09:30 Opening Remarks

09:40 Invited Overseas Speakers

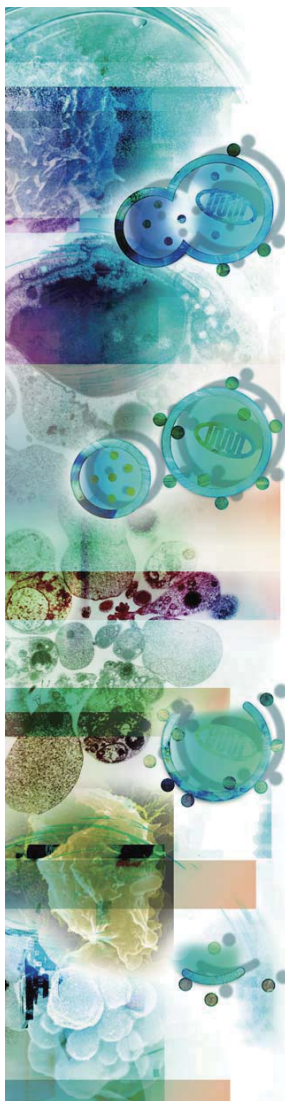
Dr. Charlotte Bevan (Imperial College London, UK)
Dr. Minetta C. Liu (Georgetown University Hospital, US)
Dr. Michael O'Reilly (M. D. Anderson Cancer Center, US)

12:00 Closing Remarks

Joint Program with the 8th Surugadai International Symposium: New Waves in Personal Genomics (organizer: TMDU Medical Research Institute)

13:00 Opening Remarks

Dr. Ikuo Morita (Trustee, TMDU)
Dr. David Hawkins (Ludwig Institute for Cancer Research, UCSD, USA)
14:00 Regulation of Alternative Splicing *in vivo*
Dr. Hidehito Kuroyanagi (TMDU)
14:25 Evolution of Olfactory Receptor Genes in Vertebrates: From the Viewpoint of Comparative Genetics
Dr. Yoshihito Niimura (TMDU)



東京医科歯科大学 難治疾患生命科学研究部 大学院生命科学教育部

細胞死・オートファジー・細胞老化をテーマとする国際シンポジウムと国内外の大学院生やポスドクを対象とした国際スクールを開催します

国際シンポジウム Cell Death, Autophagy, Cellular Senescence and Their Roles in Diseases

東京医科歯科大学 歯学部特別講堂 9:30 a.m.~5:00 p.m.

Shigeomi Shimizu (Tokyo Medical and Dental University, Japan) Noboru Mizushima (Tokyo Medical and Dental University, Japan)
Eileen White (The Cancer Institute of New Jersey, USA) Yoshinori Ohsumi (The National Institute for Physiological Sciences, Japan)
Takeshi Tsubata (Tokyo Medical and Dental University, Japan) Masayuki Miura (Tokyo University, Japan)
Masashi Narita (Cambridge Cancer Institute, UK) Scott Lowe (Cold Spring Harbor Laboratory, USA)

参加費無料・参加登録不要・使用言語 英語

問い合わせ先 東京医科歯科大学 難治疾患研究所・事務長 川柳成巳 (n.sen.adm@cmn.tmd.ac.jp)

国際スクール Advanced Course of Biomedical Science Molecular Mechanism of Cell Fate: Death, Autophagy and Cellular Senescence

(for Asian Young Investigators)
東京医科歯科大学 臨床講堂 他

- 1, Technical lectures: cell death, autophagy and cellular senescence
- 2, Lectures: functional aspects of cell death
- 3, Cooperation between industry and academia
- 4, Short talks by selected participants
- 5, Lectures: molecular mechanisms of cell fate

国内外の第一線の研究者による講義や、海外の学生との研究交流会を企画しています。

参加費 10,000円・参加登録必要・使用言語 英語

問い合わせ先 東京医科歯科大学 難治疾患研究所・教授 清水重臣 (shimizu.pcb@mri.tmd.ac.jp)

主催 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 大学院生命科学教育部 生命情報科学教育部

共催 大学院教育改革支援プログラム「国際産学リサーチプログラム」

国際化加速プログラム (国際共同・連携支援 (総合戦略型))

「異分野融合型疾患生命科学研究の国際連携」

科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業・メディカルトップトラックプログラム

- 14:50 – 15:10 Coffee Break
- 15:10 Application of next-generation sequencing technology on cancer genomics and personal genomics
 - Dr. Yong Zhang (Beijing Genomics Institute, China)
- 16:00 Genome Epidemiology of Common Diseases
 - Dr. Masaaki Muramatsu (TMDU)
 - Chairs: Dr. Shigetaka Kitajima, Dr. Johji Inazawa
- 16:25 Integrative Genomics and Epigenomics in Cancer
 - Dr. Issei Imoto (TMDU)
- 16:50 How Common is Somatic Mosaicism for DNA Copy Number Variations (CNVs)?
 - Dr. Jan P. Dumanski (Uppsala University, Sweden)
- 17:40 Closing Remarks
 - Dr. Shigetaka Kitajima (Director, Medical Research Institute, TMDU)